昭和45年12月23日第3種郵便物認可昭和45年8月1日発行毎月1回1日発行

日本バドミントン協会

バドミントン界

THE BADMINTON WORLD

no.12
1970
august



YONEYAMA RACKET

スマッシュ!



NO.8000

Alumina Hy-Power

アルミナハイパワー

アルミフレームに　アルミシャフト採用!!

軽い ——— アルミニウム合金の比重は約2.7で、銅の8.9や鉄の7.9に比べて⅓に過ぎず、非常に軽くリストの弱いプレーヤーに向きます。

強い ——— 特殊製法によるアルミニウム合金をラケットフレームに用い、鋼鉄に匹敵する強さが発揮されました。

弾む ——— 木製、スチール製に比較して柔軟性、反撥力が抜群。打球の初速が早く、更に加速が増加してすばらしいスマッシュが打てます。

YONEYAMA

株式会社 **ヨネヤマラケット**

全国運動具専門店でヨネヤマのラケットと御指定下さい。

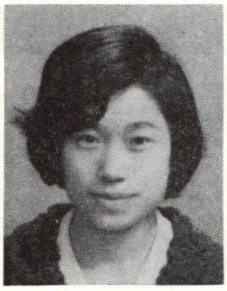
私のひとこと

【第1回】

〝環境〟に甘えるな

カベ破る努力が先決

高木紀子
（東海女短大教員）



先輩ぶってモノをいうほどえらくはないし、こんな話をすること自体が私はニガ手だ。

人を指導することが、商売の〝教師〟でありながら、おかしなことだが、考えてみると、それは私が「ひとのふり見て、わがふり直せ」の方式で、これまで生きてきたからだと思う。

別のことばでいうと、自分の道は、まず自分で切り開く努力をする、ということだ。早い話、私が指導をたのまれたり、あるいは競技会に参加したようなとき、高校生たちから一番よく質問されるのが「勝つ秘訣」ということだ。

だが、そんなものがあれば苦労しない。もし、だれでも容易にそんなものを身につけられるのなら、勝負なんて成立しないとさえいえる。

もちろん、高校生たちは、ごく単純な気持ちで聞いてくるのだが、一流のプレーヤーになるつもりなら〝近道〟はいけない。

急がば回れ、楽あれば苦ありで、すぐれたものが、努力も苦労もしないで、手にはいることなど考えられない。

上達の道も、人生も、決して一直線ではない。どこになにが待ち受けているか、わからないものだ。本誌の〝私の場合〟という先輩プレーヤーの経験談には「ラケットをふところで暖めた」だの「シャトルの羽根を一枚一枚、植えかえて使った」などという話が載っている。

それを見習え、ということではないが、そうした熱の入れ方や努力の仕方だけは、学んで参考にしてほしい。

終戦直後とちがって、最近は用具も施設もよくなり、お互いのふところ具合もあたたかくなった。そのせいかも知れないが選手も、ぜいたくでわがままになってきたようだ。

やらない前に、「そんなことは」といって理屈をならべる。身近な例でいうと、海外遠征などのさい「明朝の出発が早いから、いまから一時間で荷作り」なんて指示すると「うわあ、できやしない」という答えがハネ返ってくる。

やってみないで、可能か不可能かはわからない。有名な人のことばに「問題は、実践の中でのみ解決される」というのがある。今日まで第一線で名を得た選手の多くは、先輩である私たちに、積極的にものを聞き、議論した人たちである。

ふしぎなことに、プレーの上達とか、コート・マナーとかには、その人の人がらや生活が投影する。

環境に甘えてはいけない。条件が悪くても、自分の努力と工夫で、それを乗り越えなければいけない。いい表現ではないが先輩のすべてを〝盗め〟そして自分で考えよ、といいたい。

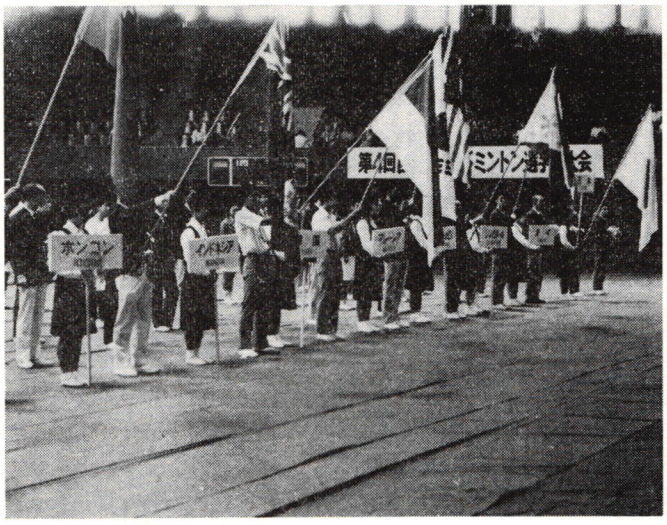
（第4、5回ユ杯主将）

「バドミントン界」《第12号》

《レポート》
◆宙に浮いた国際学生選手権……2
◆各大学の夏休み合宿について……4
◆体協の新アマ規定まとまる……6
▽新規定条文　▽鈴木委員長にきく
◆第14回全国指導者講習会から……8
▽普及の当面の方策と問題点
《連載と企画》
◆私の指導法・中学生の場合③……渡辺真規子……11
◆百万人のバドミントン上達法……14
▽家庭婦人教室　②……伊藤基記
▽中高校編　⑩……遠井稔男
▽入門編　①……編集部編
◆私の場合〈植えかえて使ったシャトル〉……小林歌子……21
◆チームづくりに役立つコーチと選手の人間関係……12
▽不平不満その原因と対策　▽コーチのあり方は
◆スポーツ界情報……22
▽入社試験に運動テスト　▽スポーツ界とお化け
▽ミニ・ニュース
《競技会》
◆速報・東日本学生選手権……3
北から南から……24　ルール100問……30
読者の広場……26　レコード……32
告知板……28　ラスト・コーナー……36

表紙／撮影・松井亮磨　デザイン・小浜正道
カット／おおば比呂司・秦　浩・芦間登美子
写真／各氏提供

宙に浮いた国際学生選手権



▲東京で行なわたた第４回大会の開会式

無組織、無責任が原因

アジアはおそまつ　将来の続行にも疑問

「26、27日（6月）の国際学生の選考会は中止」との連絡が名地区学連に届いたのは、その二日前の24日午後五時ごろだった。そして、地区学連から、すでにその地区の予選を通過していた各選手へと話が伝えられ、関係者に多大の迷惑をかけて、選考会は流れた。

なぜ。本大会そのものが予定どおりには開かれない（？）ことが、ぎりぎりの時点でわかった（これも？がつく）からだ。

「本来なら、前年十二月までに開催地から、なんらかの通知があり、それを受けて三月の全日本学連各地区委員長会議で「参加するかどうかを決める」のが通例。

だが、今回は何も通知がなかったため「連絡があれば参加する。代表は選考競技会を開いて決める」ことだけを申し合わせた。しかし、こりゃ、いったいどうなってるのか、というわけで、われわれは、まずシンガポール・バドミントン協会に手紙を出した。これが四月二十二日のことである。

以下、経過を続ける。この返事がないため、さらに六月五日、もう一度、返信料付きで同協会へ打電したが応答なし。やむを得ず六月十二日には韓国、十七日にはマレーシア、同二十日クアラルンプールと次々に返信料付きで電報を打ったが、まるっきりナシのつぶて。

これでは、と、われわれも選考会を開くこと自体に迷い始めた。代表を決めたのに大会がないとか、あるかないかもわからないという状態になっては、関係者に申しわけないからだ。

最後の手段として二十二日には台湾へ電話したが相手不在。二十四日シンガポールへ電話すると「相手は、そこには実在しない」という。結局、あきれたことに選手の集合予定日の前日まで、一切が雲をつかむ状態で、選考会を止めるほか、手段がなかった。

国際学生は〝アジアの前進〟のためマレーシアの提案で誕生、65年から毎年開かれている。参加資格はその年の一月一日現在で二十歳未満のもの。日本は第二回から参加し、第四回、五回には男子単を除く五種目に優勝という成績をおさめている。

今回の開催地は、前回マニラ大会のとき、シンガポールに決まったという。（ところが、最近マレーシアから来た手紙では「セイロンが開催地、シンガポールが予備と書かれ、マニラからの便りは、両国以外の予備候補の順は台湾、香港、インドネシア」としてある）

これについて事情通の村山氏は「シンガポールとセイロンはキャッチボールをしている。前者は利益が上らねばやる気はなく、後者は財政難をかかえている」といったが、結局、これが当たっていたようだ。

とにかく当事国が無責任で連絡もしないのではお手上げだ。各国には日本のような学連がないし、国際学生自体の組織や事務局もない。これがそもそも〝敗因〟だと思う。

今年がダメだということは、来年以降にも（？）が残る。つまり日本がリーダーシップをとるとか、開催を引き受けるとかしない限りは、だ。こまった話である。

ユ杯、トマ杯代表の〝予備軍養成機関〟ともいうべき、国際学生選手権大会（開催予定地シンガポール）が、流会になった。流会したいきさつから推測すると、来年以降の大会継続も危ぶまれる状態にある。

原因は、当時国からの連絡がないため、はっきりしないが、これまで、しっかりした組織がなかったこと、そのため責任の所在が明らかでないこと、などが考えられる。

日本では全日本学生連盟が中心となって、代表選考会を開く準備をしていたが、八方、手をつくして各国に連絡しても、なにも情報が得られず、結局、高い外国電報代を使ったあげく、〝アジアはでたらめだ〟という教訓を得ただけ。選考会も予定日の直前に中止して、関係者に迷惑をかけてしまった。

〝宙に浮いた国際学生〟の、経過と問題点を追ってみる。

（全日本学生連盟委員長・菅原元）

速報

本間ナンバーワンの貫禄

東日本学生女子は高坂に初栄冠

第十三回東日本学生選手権大会は七月九日から四日間、東京・台東体育館で行なわれた。男子単は本間（中大）が順当勝ちで初、同複は今泉、岩下（中大）が二年連続優勝した。女子単は高坂（青学）が初栄冠を得、複は浦口、本間組が二年ぶり二度目のタイトルを手にした。

◆男子シングルス

▼準決勝

鷲尾 2（15―5）0 今泉（中大）
本間 2（15―4）0 笠井（中大）

▼三位決定戦

笠井 2（棄権）0 今泉

▼決勝

本間 2（15―5）0 鷲尾

ベスト4に残ったのは、中大勢三人と法政一人であった。今泉×鷲尾の試合は、日頃、部内で知りつくした相手だけに、今泉優勢かと思われたが、前日、我妻との二時間余りの痛れが残っていたようで、一ゲームの途中より動きが悪くなり、ミスの連続。二ゲーム目は完全に試合をすてたようで4ポイントを取るのがいっぱいだった。

本間×笠井は一ゲーム目3オールから、本間に連続9のポイントを取られ、二ゲーム目も一時6対5とリードしながら、6ポイント連取された。

決勝は中大同士、ダブルスのパートナー同士の対戦。鷲尾もよく健闘したが、実力の差はいかんともしがたく、敗れた。本間が一回戦から決勝まで、相手を平均5ポイントにおさえたことは、学生NO1の実力をもの語っているといえよう。

（大場直美）

◆男子ダブルス

▼準決勝

本間 尾崎 2（15―13）0 今泉 下（中大）
鷲尾 岩下 2（15―9）0 小尾 泉崎（中大）

▼三位決定戦

今泉 下 尾崎 2（15―7）0 小尾 泉崎（中大）

▼決勝

今泉 岩下 2（12―15 15―10 15―1）1 本間 鷲尾

男子ダブルス決勝は、決勝戦にふさわしい見ごたえのある一戦であった。

第一ゲーム、今泉・岩下のコンビよく、本間組の穴をうまくつき、なんなく先取した。それに気づいた本間は、第二ゲーム、鷲尾をよくリードし、決め球をうまく処理、今泉組のスマッシュ・ミスを誘い、接戦の末、とりかえしてゲーム・カウントをタイとした。

第三ゲーム、7点までシーソーゲームを展開し、チェンジ・エンドした後、本間組のサービス・レシーブのミスが目立ち、調子をとり戻した今泉組がどうにか逃げきり、タイトルを保持した。

一年生ダブルス尾崎・小泉組の三位入賞は立派だ。まだミスが目立つが、長身を利した破壊力ある攻めは抜群。今後楽しみなコンビである。（久永公夫）

◆女子シングルス

▼準決勝

浦口 2（11―5）0 堀川（日女体）
高坂 2（11―7 11―11 11―4）1 小片（青学）（日体）

▼三位決定戦

小片 2（11―6 12―9）0 堀川

▼決勝

高坂 2（11―7 11―5）0 浦口

新人戦、関東学生と、小片に連敗の高坂は、今度こそ絶対に負けられぬ、というつきつめた気持ちがあったためか、最大の難敵とみられた準決勝では、この小片に対し、闘志をむき出しにして挑んだ。

第一ゲームは高坂が6ポイント連取して先行、第二ゲームは接戦のすえ小片のものとなって1オール。しかし、ファイナルは全く高坂のペースだった。

浦口×堀川は、経験にまさる浦口が堀川の弱点をうまく攻めて勝った。小柄な浦口のダイナミック？な攻めは見事だったが半面〝大器〟といわれて久しい堀川には、もうひとふんばりがほしい。

高坂は調子にのり、決勝でもうまい配球で浦口をくだした。第一ゲームは、5オールから5点、第二ゲームも7―5から5点を連取して自己のペースだった。（大場直美）

◆女子ダブルス

▼準決勝

本間 浦口 2（15―9）0 小片 堀川（日女体）
高坂 漆畑 2（15―3）0 谷崎 塩沢（日女体）

▼三位決定戦

本間 浦口 2（15―10）1 高坂 漆畑（日女体）（青学）

▼決勝

小片 堀川（日体） 2（15―18 16―4）0 谷崎 塩沢（日女体）

若手の谷沢・塩崎は堅実な試合で勝ち上ってきたが、準決勝では小片・堀川に対しては歯が立たなかった。第一ゲームはセッティングまで持ち込んだものの、第二ゲームは0―10。

浦口組×高坂組は接戦し、応援のスタンドにも熱がこもった。しかしペアを組んで日の浅い高坂・漆畑は、やはり、あと一歩の何かが足りなかった。

決勝は、これまた〝やはり〟キャリアと試合運びの差が現われた。第一ゲームは小片組が6―1とリード、第二ゲームも同じく先行したが、中盤以降の浦口組の〝地力〟はすばらしく、あっさり逆転した。優勝ペアは〝落ち着き〟でまさっていた。

（鈴木信夫）

案内

高校生などの参加も歓迎

目標……体力養成と基礎練習が主

＝各大学の夏休み合宿について＝

中大は猛烈トレーニング

関東地方各大学の夏季合宿の予定がまとまった。概要は左ページ一覧表のとおりだが、この合宿はその地方の高校生や中学生にとっても、大いに参考になるものと思われるので、できるだけ見学することをおすすめする。

大学によっては、高校生の参加を歓迎するところもあるし、場合によっては、ちょっとした助言や受けられるかもしれないので、見学のさい、自発的に聞いてみるとよい。

×　×　×

さて、各校の合宿の目標はさまざまだ。

たとえば、男子学生界の王者中大は「全日本学生、秋季関東学生リーグ優勝のため、一、二年生のパワー強化」が主目的。

内容を説明すると①早朝トレーニング（柔軟体操、3キロのランニング）②午前は一人3試合ずつのゲーム練習③午後は基本練習で、連続スマッシュ（15分インターバル）ダブルス連係動作、2対1のシングルス（15分インターバル）、オール・ロング、オール・ショートに分けたサービス、一組だけ試合し、他は全員で観戦するシングルス、ダブルス、そしてダッシュ練習を主としたトレーニング。

夜は約一時間半、ミーティングをやり、毎日の反省と今後の課題について研究する…など。

法大はコート内での体力ずくりを目標に、反復トレーニング「くだらないミスをなくす」ために基礎的なことを多くとり入れる。日大はシャトル打ちが一日五時間、ランニング約一時間、補強運動約一時間が大体の割りふり。

また、日程をいくつかに区分し、前半は基礎、後半はゲーム（早大）二日ずつ、基礎、基礎と応用、ついで実戦（日大）というやり方も多い。

体力養成はいずれの大学でも一つの大きな柱だが、青学大女子のように、合宿前にトレーニング関係はすませ、シャトルを打つことに主目標を置くところもある。

男女合流も計画…青学大

この青学大では今春、いっしょに合宿練習し、女子が午前と午後の三十分ずつ、男子にケイコをつけてもらい、効果をあげた。今回も同様のことが考えられている。

このほか、目標としては、中大同様、リーグ戦、学生選手権での好成績を期待するため、という点が共通しているが、たとえば①クラブの和を育て②競争意識をさかんにし③精神の集中力を養う、しかも「目標達成のため、たえず努力する気持ちをつくる」（東女体大）のように精神面のトレーニングも大きな目標だ。明大、杉野女大なども同様の考え方をしている。

女子の雄・日女体大は選手の多くが出身校にもどりインターハイ前の練習の相手をしたり、全国私立短大の大会（八月初旬）などがあるため、合宿は新学期直前の、九月五日―十日（東京の学校の体育館で）となっている。

もう一つ、高校生などの参加についてだが、OKというところを別記すると

関東学院＝県下高校生との練習試合もやる。

青学女子＝日程にさしつかえないていど相手する。

早大＝かまわないが、岩手国体の選手が来るので…。

法大＝できるだけ多くの人に来てもらいたい。

日大＝年令、性別を問わずだれでも歓迎します。

中大＝高校生、国体選手の参加もありうる。

日体大男子＝高校生参加ありといったところだ。

いずれにしろ、積極的に見学して、いいものを吸収してもらいたいもの。

立大はレギュラー不足でやらず

このほか、新進のホープ谷口選手を持つ立大は、レギュラーが四人と少ないため、大学自体の合宿はやらず、選手たちはトヨタ自工（愛知県トヨタ市）の練習に合同する予定だ。

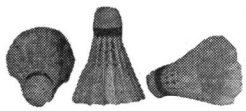
関西の名門で〝打倒日女体〟をめざす東大阪女短大は、今夏はとくに外部へ出かけず、八月中旬に中休みする以外は、自校で連日練習を続ける。

関東学大	8月21日～8月27日	鹿児島
東女体大	8月26日～8月31日	群馬県高崎市営体育館　市内栄町神戸屋旅館（22）5787
日体大女子	8月21日～8月28日	埼玉県上尾市愛宕3—8—68　東邦レース体育館
中央大	8月23日～8月29日	奈良
明治大	8月26日～8月31日	静岡県沼津市沼津商高体育館
法政大	8月17日～8月21日	石川県金沢市金沢高，県体育館
早稲田大	8月21日～8月27日	岩手県釜石市新日鉄釜石健保体育館
日本大	8月9日～8月15日	北海道札幌市札幌大学
青学大女子	8月24日～8月30日	富山県高岡市体育館
杉野女子大	8月24日～8月29日	茨城県日立市水木町1517　久茲小学校
千葉大	8月13日～8月19日	千葉県佐原市立第二中体育館 佐原市香取神宮前千とせ屋旅館
東京大学	7月17日～7月21日	千葉県検見川東大合宿所
青学大男子	8月24日～8月30日	富山県高岡市営体育館
日体大男子	8月24日～8月39日	神奈川県平塚市新宿930 市立見付台体育館

水鳥 検定合格球

ファストゴールド
ファストシルバー





ファスト印シャトルコック製造発売元　有限会社 ジャワ商会

山形市六日町7-28
電話 02362（2）3994

アマチュア・スポーツのあり方

スポーツは、楽しみと、よりよく生きるために、他から求められることなく、自らの能力に応じて行なう自由な身体活動である。

明るい光とすがすがしい環境の中で行なわれるスポーツは、そのまま豊かな国民生活の形式に役立つものとなろう。

このようにしてははぐくまれるスポーツが、あまねく国民の間に行きわたることによって、健康な国民がつくられ、正しいスポーツマンシップが生れることを願い、ここにアマチュア・スポーツを楽しむ人々のあり方を定めた。

アマチュア・スポーツマンは

1 スポーツを愛し、楽しむために、自発的に行なう。

2 ルールに従い、フェアプレーに終始する。

3 常に相手を尊重しつつ、自己の最善をつくす。

4 スポーツを行なうことによって物質的利益を求めない。

5 スポーツによって得た名声を利用しない。

日本体育協会 アマチュア規定

第1章 総則

第1条 この規定は本会加盟の競技団体が、その団体のアマチュア規定を定めるについて基準となる条項を定めたものである。

第2条 ここにいうアマチュア競技者とは、本会加盟の競技団体に登録しているものである

第2章 アマチュア競技者

第3条 アマチュア競技者はその所属する競技団体のアマチュア規定によって規制される。

第4条 本会加盟の競技団体は次のものを競技者として登録することはできない。また、すでに登録した競技者が、次に該当した場合は、その登録を取り消さなければならない。

(1) スポーツで得た名声を商業宣伝のために使ったもの。

(2) スポーツをすることによって、所属競技団体の規定で認められている以外の金品を受け取ったもの。

(3) 授与された賞または副賞を金銭に換えたもの。

(4) コーチを職業としたもの、またはしているもの。

(5) 本会または所属競技団体が禁止した競技会に参加したもの。

(6) その他、競技者としての品位または名与を傷つけたもの。

第3章 本会加盟の競技 ←

体協の新・アマ規定まとまる
競技団体に自主責任持たす

新しい体協のアマチュア規定（上段参照）が内定した。

日本体育協会は、現行のルール（昭和32年改訂）が、時代の流れに即応しない点もあるとして、全面的な改正に取り組んでいたが、七月十三日、アマチュア委員会（鈴木良徳委員長）の手によって原案が出来上った。

これは九月中旬、日本体育協会の理事会で審議されるが、大体、この原案どおり承認される見通しが強い。

新しい規定は全体が三部門に分かれ、①が「アマチュア・スポーツのあり方」②が「日本体育協会アマチュア規定」③が、以上二つの「制定理由」つまり〝説明〟となっている。

日本体育協会は現在、社会体育やレクリエーション活動の推進（スポーツの普及）と、オリンピックや世界選手権で好成績をあげるための努力（選手強化）という二つの大きな役割りを持っている。

しかし、体協が総括、規制できるのは、体協加盟の競技団体（日本バドミントン協会、日本バレーボール協会など36）、間接的にはその競技団体の登録者だけに限られる。なぜなら、登録もしていない不特定多数の全国のプレーヤーや愛好者を規制する手段がないからだ。

そこで、まず登録者以外の全国のスポーツ愛好者にも「理解し、その趣旨にそってスポーツを楽しんでもらいたい」という意味で「アマチュア・スポーツのあり方」を打ち出した。

〝商業主義の便乗〟を警戒

第二の「アマチュア規定」は登録者を規制するもの。このため（次ページ「鈴木委員長に聞く」参照）各競技団体は、全登録者を正確に把握する必要に迫られることになる。

しかし、この規定に流れる根本的な考えは「登録者については、各競技団体が自主的に規制すべきもの」という点にある。競技団体自体のルールがない場合は新に作成すること、そのルールは、体協の規定より甘いものであってはいけないこと、が示されている。

条文のなかで主要な点は、第4条、第6条、第7条、第8条、第10条。

共通する点は「商業主義、営利主義（宣伝、広告）にのせられて、選手としての名声を利用したり、利用させたりしてはいけない」し、また「大会や競技会の場を商業主義に利用されたり、または利用させたりしてはいけない」ことである。

また、第13条にあるように、競技団体が、監督不行届きのために、体協のこの規定に違反した場合は、競技団体自体が、体協の関係する海外選手派遣（バドミントンではアジア大会、補助金をもらっている全英等の遠征）や体協の主催、共催競技会（国体、全国高校総体など）から〝仲間はずれ〟にされる恐れがあるから、注意しなければならない。

同様に、選手たちも、これまではとかく、アマ規定などには関心がうすかったが、今後は、条文をよく読んで「お金をもらわなければいいだろう」などと単純に考えず、戒心してもらいたいものである。

→ 団体

第5条 本会加盟の競技団体はアマチュア・スポーツのあり方の趣旨を体して、アマチュア・スポーツの発展、普及をはからなければならない。

第6条 本会加盟の競技団体は競技会を開催するに当って、他の団体を共催、後援あるいは協賛者として加えることができる。ただし、競技会を利用して行なう商業宣伝は、本会の承認を得ない限り、競技会のプログラム、ポスターに限るものとする。

第7条 本会加盟の競技団体は、競技者が直接使用する被服または用器具に、広告を記載したものを使用し、または使用せることはできない。

第8条 本会加盟の競技団体が関係する競技会の賞は、原則としてトロフィ、カップ、タテなどとする。副賞を授与するときは、競技会の品位を傷つけず、また宣伝に利用されないものに限る。

第9条 本会加盟の競技団体は、その使用する用器具等の正確を保証し、あるいは競技者の技術の向上、安全をはかるため、検定料をとって、それらのものを検定することができる。

第10条 本会加盟の競技団体は競技者が、放送、座談会、その他の行事に出演、参加する場合は、あらかじめ届け出をさせ、それが競技者としてふさわしくないと認めたときは、これを禁止しなければならない。

第4章 本会加盟団体の役員

第11条 本会加盟団体の役員は常に品位と名与を重んじ、競技者の模範となるよう行動しなければならない。

(2) 前項役員のうち、コーチ、トレーナー、あるいはチーム編成のときの役員等については、かならずしもアマチュア競技者であることを要しない。

第5章 補則

第12条 本会加盟の競技団体がその団体のアマチュア規定を制定、改廃する場合は、常に本会に申し出て、その承認を得なければならない。

その競技団体が、それぞれ加盟する国際競技連盟のアマチュア規定に抱束される場合は、前項の申し出をなすに当り、その国際競技団体のアマチュア規定の全文を添付しなければならない。

第13条 本会は、本会加盟の競技団体が、本規定に違反すると認めたときは、その団体に注意を与え、本会主催事業と派遣競技会への参加を禁止することができる。

鈴木アマ委員長に聞く 《対談》
全競技者の日本協会登録が先決



(左) 日本体育協会理事
アマチュア委員長　鈴木良徳氏

(右) 川端理事長

川端 大変、長い間、ご苦労さまでした。新しいアマチュア規定のねらいというと、どういう点ですか。

鈴木 一番、大きな点は、体協のルールは、加盟している競技団体に共通の〝最低必要〟の基準を示したということです。つまり、アマチュア競技者の規制は、各競技団体が直接行なうべきもの、という考え方。その意味で、競技団体の責任が非常に重大になりました。

バドミントンのアマ規定は、どうなっていますか。

川端 私どもの方は、これまで体協ルールをそのまま尊重し従うということでやってきたのです。

鈴木 IF(国際連盟)のルールはどうですか。

川端 アマ規定として独立したものはありません。

鈴木 それはいけませんね。早急に、日本バドミントン協会独自のルールをつくってもらわねばなりませんね。

川端 規則の対象は、競技団体の登録者だとうたわれていますが、私どもの協会は日本協会と地方協会の登録者がちがう。つまり、地方協会だけに登録しているものが多いのです。地方だけの登録者は規定の対象にはならないのですか。

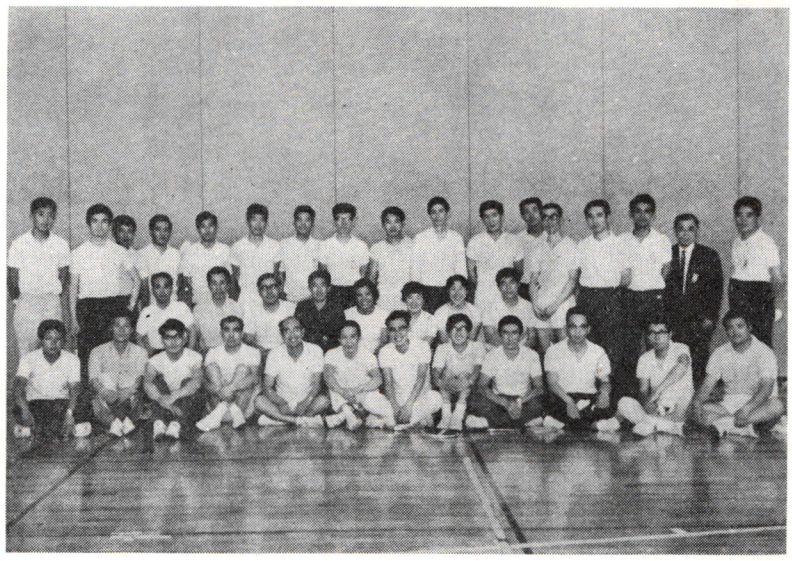
鈴木 そんなことはありません。ですから、地方に登録するものは同時に日本協会登録者にならないとこまります。

もし、地方協会だけに登録している選手に、ルール違反容疑があっても、日本協会が知らないとか、連絡がきても「一切、関知しない」といって、日本を統括する協会の責任がとれるわけがないでしょう。

競技者登録は、すべての事業活動の基本ですから、これを明確に把握しておくことが大切です。

陸上などは以前から全員が日本陸連の登録者です。大体、地方と中央の登録者がちがう団体は、体協加盟団体の中では例外ですよ。

第14回全国指導者研修会（6月27～29日）



今年で第14回を迎えた全国指導者研修会が、六月二十七日から三日間、東京・代々木の元オリンピック村に当たる青少年センター研修館で開かれた。

今回の受講者は全国二十三都道府県から四十人。いろんな理由があったと思うが、半数の地方協会からの参加がなかったのは、まことに残念である。しかし、出席者は高校から中学、小学校の先生、協会役員、民間指導者など多彩な顔ぶれで、幅の広さを示した。将来が楽しみである。

三日間のうち、研修が行なわれたのは二日間で、実技のほか討論会と、二つの講演、座談会があった。本号では、そのうちの一つを紹介する。

◆バドミントン当面の課題◆

普及の方策と問題点

日本協会指導委員長
伊藤基記

日本バドミントン協会、とりわけ当指導委員会が、これから余力をあげて取り組まなければならない当面の課題は、小中学生に対する普及である。

指導要項の改訂によって、中学の体育教材の中に、ふたたびバドミントンが姿を見せることになった。47年度から三年生の撰択教材の中に、やっと片足をつっこんだ程度ではあるが…。

ともかく、そこで問題になるのは指導者と組織づくりということである。

残念なことに、これまで〝スポーツの水源池〟ともいうべき体育指導者養成の学校のスタッフの中に、いわゆるラケット競技について、すぐれた見識、実力、技能を備えた教師が存在しなかった。

これが要目制定のスタッフにバドミントンの体験者、理解者がいない、という話に結びつくわけだが、最近、ふしぎな現象が現われてきた。

すなわち〝水源池〟で習わなかった人々、大学、高校、中学教師の中にバドミントンを愛好し、クラブ活動をリードするものが多くなったことである。

小中学生への普及と指導者
前進傾向の中にも危機感

こうした人々を捕えているバドミントンの魅力は、一体、なんだろうか。

a・同じラケット競技の中でも、空気抵抗によって面白いとび方をするシャトルを媒体とし

b・全力打球と微妙なコントロール、バランスとアンバランス、ピストン運動と孤をえがくムチのような動きが調合され

c・立体的なゆすぶりの中にあふれるスリルとコミックなゲームの構成

――このようなバドミントン独特の面白さは、入門の抵抗が少ないかわり、無限の奥行きがある〝幅の広さ〟とあいまって、愛好者の増大に拍車がかけられている。

先進種目に独占される体育館

もう一つ、経済水準の上昇によって体育館が各地に増設されていることも見のがせない。しかし、一方では体育館が、バレー、バスケット、卓球、体操といった〝先進種目〟によって占領されつつある事実、加えて指導者不足が、バドミントンの前進を阻む傾向も見えている。

以上、述べたような背景から、多くの素質ある少年少女が、他のスポーツへ走り、バドミントンは、いわば〝お余り頂戴〟ということにもなりかねない危険をはらんでいる。

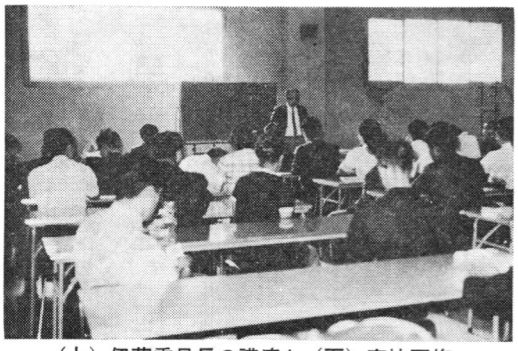
この事実は、中央、地方を問わず、協会組織の指導的地位にあるものが、キモに銘じて考えなければならない。

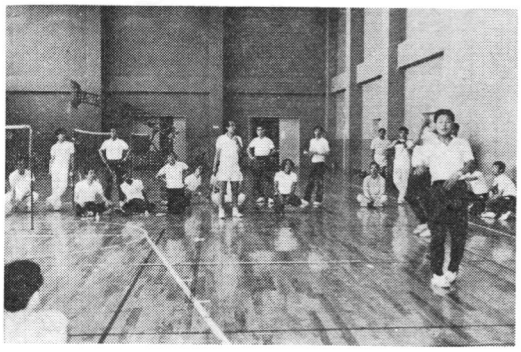
先決〝遊び場〟の組織化

しからば、これに対し、どのような対策があるか。結論からいえば簡単であり、指導委員会が力説しているように、幼少年の遊びの中に〝バドミントン遊び〟を滲透させることである。

近年、とみに台頭している〝親と子の体育遊び〟や〝スポーツ少年団〟あるいは小中学校の〝クラブ活動〟の中に、ラケット遊びを紹介し〝味をしめる〟チャンスを提供することだ。

子供たちが〝強制される〟のではなく、いつの間にか〝ひきこまれていく〝環境をつくることが大切である。





（上）伊藤委員長の講演と（下）実技研修

バドミントン愛好者である大人の任務は、みずからのプレーにだけ没入するのでなく、周囲で好奇と羨望の瞳をかがやかしている子供たちにラケットを与え、たどたどしいながらも、弾む呼吸と歓声の中に、伸びていく〝芽〟を発見し、育てていく労を惜しまぬことである。

小学校で「バドミントンをやれ。やってよい」とは、一言も述べられていない。けれども中学三年にコツ然とバドミントンが出現するのではこまるのだ。前段階としての誘導的種目の存在までも否定する根処はどこにもない。

ラケットを持った体操がありそれを子供たちが喜び、その運動遊びによって、楽しく道具を使うこと、空間を移動するものに、うまく身体や道具をあわせること、それに付随するマナーを覚えるとするならば、推奨する理由こそあれ、禁止する理由はどこにもない。

大学生になってからラケット競技を選択するものの率の高さ「子供のときからやっていればなあ」と嘆く声を聞くことの多さを考えれば〝先きにツバをつける〟ことの重大さは理解してもらえるだろう。

ただし、幼少年には、それぞれの体力に応じた柄の短いラケットが望ましい。まだ市販されていないからさし当たりは特注によって、小型ラケットの普及を促進することが必要である。シャトルは、中学生用としては、いまのところナイロン製をすすめたい。経済的余裕があれば、羽毛球もちろん、けっこうである。

しからば、どのようにして遊ばせるか。まず、バドミントン・クラブであるという理由



で最初から最後までシャトルの打ち合いばかりさせるのは賢明でない。いろんな遊びの中の一部として、適当に〝ハネ打ち遊び〟を挿入する程度が魅力的だ。

〝早期固定〟にとらわれるな

幼少年のころから不当にスポーツ種目の固定化を行なうことはまちがっている。

六オごろ、人間は遊びの種類が最も多くなるという事実を学者が証明している。この環境の中から何パーセントかが、進むべくしてバドミントンに進めばよいのであって、十把ひとからげに、だれでも押し込み、しばりつけるのは、バドミントン・プレーヤーとしての大成自体にもマイナスである。また脱落者から大きなブレーキをかけられる。もし、ラケット遊びの中からテニスにむかうものがいても本人の問題であり、干渉は不当である。

要は、素直に運動が楽しい、ラケット遊びが楽しい、バドミントンが好きだ、といえる子供をつくることが先決であり、こうした子供が全国にあふれることこそ、真の〝競技力向上〟である。

肥沃なバドミントンの苗床、それは小中学校の少年少女のクラブである。いたずらに苗床の拡大をはかるよりも、地道に周囲の一人一人を〝バドミントン病中毒患者〟に誘いこむことである。

この〝苗床〟管理者である指導者の責任は重大だが、またこれほど楽しいものもない。

× × ×

講習会の主な日程〔第一日〕▼講演＝指導上の諸問題（伊藤委員長）▼ユ杯、ト杯監督らを囲む座談会▼研究討議＝指導上の諸問題について▼フィルム・ビデオ観研〔第二日〕▼講演＝スポーツ界とバドミントン（東京新聞・後藤忠弘）▼実技研修〔最終日〕▼施設見学、閉会式

受講者名簿

【北海道】金野義雄（北海道新聞）西村幸征（札幌市日章中学）**【青森】**藤田昶（鶴田高）**【岩手】**細野健次郎（協会高校女子コーチ）西村容子（教員）**【山形】**佐藤正彦（新庄北高）**【福島】**須藤博（三菱製紙白河工場）**【群馬】**関俊夫（県立桐工場）安井正之（県立桐生高）**【栃木】**田中光江（宇都宮市立瑞穂野中学）別井晃（県立今市高）近藤満（作新学院高等部）**【石川】**奥村明義（金沢二水高）竹村藤雄（？）**【福井】**岡本政幸（福井市光陽中学）梶谷将人（福井銀行）**【滋賀】**横田正俊（彦根市立南中学）**【奈良】**西野勇（天理スポーツ社）伊藤武男（伊藤クリーニング店）**【三重】**伊豆晃（県立松阪高）**【和歌山】**森隆（県立新宮商高）土田行夫（住金和歌山）**【大阪】**民谷憲二（大阪市立大）奈良慶治良（堺市立小学校）**【兵庫】**吉田昇（尼崎大日本電線）鳥井治子（神戸市立西舞子小学校）**【岡山】**岡本武利（岡山市役所）虻江優（三井造船玉野）**【山口】**中西禎二（県立下関南高）**【島根】**松本坦道（島根商高）**【徳島】**新見泰志（相生町西納小学校）**【福岡】**中島政人（県立門司高）三原邦吾（明善時習学園）森田弘（山下株式会社）**【長崎】**竹内正義（長崎市立小島中学）大原尚雄（長崎市立式見中学）**【熊本】**本田哲英（松橋中央公民館）広瀬邦昭（益城中学）**【鹿児島】**吉松昌一（南大隅学）原口健次郎（吹上高）

日本バドミントン協会検定合格ネット・メーカー

松本製網株式会社　大阪府八尾市福万寺町4-72　TEL 0729 (2) 3217
◎ 20／12　倉敷ビニロン（MATVMOTO）

鐘屋産業株式会社　東京都文京区本郷3-17-2　TEL 03 (811) 3773
◎ ナイロン　A級　◎ 綿　B級

（株）寺西喜商店　大阪府八尾市福万寺町4-31　TEL 0729 (2) 3210
◎ バドミントン・ネット　C検定

（株）ジイティヤング　本社　大阪市南区東平野町2-25
支社　東京都墨田区本所1-36-2　TEL 03 (623) 7155
◎ 20番手　12本クレモナビニロンテトロン引紐
◎ 20番手　12本綿　テトロン引紐
◎ 20番手　12本綿　クレモナロープ引紐

ミセキネット製作所　埼玉県北葛飾郡幸手町中1-7-4　TEL 04804 (2) 0379
◎ ミセキ　VA　◎ ミセキ　A

生徒の〝停滞〟は教師の〝鏡〟

可愛いく、たくましく大成してほしい



渡辺真規子　先生

最初は試合に出ても「花乃井のようなヘタな学校とはいや」といわれたこともあり、以来、九年の歳月が流れた。

「いやだ」といわれ、カッとなったことが「よし、それなら」というきっかけになり、二年目で府下三位になったことからムードが盛り上がり、ついには近畿大会で三連勝――だが、初期のころにくらべ、現在の近畿地方、中学全体のレベルは上る一方。激しい競争の中で、研究と実践とに追われ、身をすりへらす毎日である。

この十年、私にとって、バドミントンは生活そのものだったが、あまり一つのことばかり考えていると、頭が固くなり、目に見えないカベが現われて、精神の〝行きづまり〟に陥るらしい。

いくら同じことを繰り返しても一向に技は進まず、体力もつかないと、つい「止めてしまえ」と大声でどなり、カッとしてラケットを振り上げ、クラブから放り出したりする。

私自身はもちろんヤケクソ。「こんなことをしていても何もならない、もっと自分のことでも考えよう」と、何度か止める決心をしては見るが、止められない…。

そして、気持ちの整理がつかぬまま、しばらく放ったらかしにしておき、心機一転したところでやらせると、急に出来るようになったりする。生徒は指導者の〝鏡〟だ。生徒が〝停滞〟したときは、教師である自分に、なにか問題がある…ということが、試行錯誤を重ねながら、ようやく、わかってきた。

素質のあるものは、と限定すべきかもしれないが、本来「中学生は習得が早い」と私は思っている。

花乃井中学の生徒は都心のものが多いせいか、体格がきゃしゃで、腕っ節も弱く、見るからに繊細である。小器用にこなしてはいるが、これでは高校やそれ以上の段階になると、頭打ちになってしまうのではないか、と思わせるタイプが多すぎる。

私の力の及ぶ範囲が中学の三年間に限られる以上、なんとかして〝大成〟するタイプに向かってほしい、可愛いく、同時に、たくましく、と願わずにはいられない。

協会からの指導連絡密に

私は協会には、なんら直接の関係もなく、協会の動きや方針なども、よくわからぬまま、今日まで、ただメクラ滅法で中学生を相手にしてきただけだった。

しかし、今後は、やはりこれではいけない、と考える。

あの純真な中学生のもつエネルギーを充分に育て、伸ばしていくためにも、協会を中心に、計画、実行していただきたいことが山ほどある。

最近の新聞では、各競技でジュニア（中学）全国大会が今夏華々しく開催されることが報道されている。

競技人口や底辺のひろがりからいったら、決して他にヒケをとらないバドミントンも、一日も早く、ジュニアの大会を実施し、世に広くその面白味を問うていただきたいと思う。

また、以前にも注文したように、指導者の集まりを密にし、互いに研究を積み、練習やその悩みを話し合う機会を多く設けて、指導への意欲を高める必要があると思う。

いろんな協会関係の行事のアピール、連絡等も、まだ充分ではないように思われる。

協会への協力もしないで一方的に注文を述べるのは申しわけないが、例えば、大きな国際試合の場合でも、いつ、どこで、どのように開かれるのか、直前にならなければ、一部の人だけにしかわからないようだ。もっと広く門戸を開いてほしい。どこに問題があるのだろうか。

大阪の中体連は川本先生（此花中）のご努力で、大変よくまとまり、また近畿とのつながりは近畿大会を通してあるが、他地域とは全く没交渉。どんな状態か、全然わからない。

この種のヨコのつながり、協会と中体連との関連も、もっと緊密、積極的であってほしい。

（続く）





▲近畿中学選手権優勝時のメンバー、後列左から大川、佐伯、古谷、山田、前列左から平野、尾崎、牧野。◀当時一年の山田（右）は現三年で部長・平野は主将。あとは高校で活躍中。

コーチと選手の人間関係

その原因と対策

耳をかたむけよう

日本鋼管の社内報「鋼管」6月号に「生かすも殺すもあなた次第・不平不満―その正体と対策」という興味深い特集記事がのっていた。

職場にうずまく不平不満やグチの正体を分析しながら、不満もプラスのエネルギーに転化できる――という話だが、職場における上司と部下の〝人間関係〟のあり方は、そのまま、バドミントン・プレーヤーの場合にも「チーム・コーチ・選手」に置きかえて、考えることができるのではないだろうか。

編集部は、このような発想に基ずいて、スポーツの指導と、コーチ↓選手の意志疎通、チームワークの改善に役立てばと、その要旨を抜すいし、編集し直した上、ご紹介することにした。

各界関係者のお役に立てば幸いである。

不平不満とは一体なんだろう「それは欲求不満とよく似ている。つまり自分の欲求が満たされないときに起こる感情だ」と千葉大の多湖輝助教授はいう。

人間の欲求については、マスローという学者が「欲求の五階」として、つぎのように説明している。

①生理的要求――基本的で本能的なもの。

②安全要求――日々の生活を安定させ続けたいと願うこと。その中には職場における自分の安定した位置づけをはかりたいと思うことや、つらいことを避けたい欲求も含まれる。

③集団欲求――グループをつくり、その一員となり、みんなと仲よくしたいと思うこと。

④承認欲求――他人から認められたいという欲求。たとえばリーダーになりたいとか、美人になりたいなども、この中に含まれる。

⑤自己実現の欲求――働きたい、問題を解決したい、創造したいなどが含まれる。



欲求に五つのタイプ

以上、一般的には①の段階の欲求が満たされると②、③とエスカレートしていく、というが人によっては、必ずしも、そうなるとは限らない。

いずれにしろ、これらの要求が、全部満たされれば問題はない。現実はそうでないから欲求不満が生まれ、それが不平不満につながるのだ。

では職場では、どういう場合に、不平不満が生まれやすいのだろうか。

経営心理研究所長の松本順さんの話を要約すると、つぎのようになる。

さて、これをチームというものの中にあてはめてみると、どうだろうか。たちどころに、五つぐらいは、不平不満の原因が思い当たるだろう。たとえば

①学校や監督、コーチの方針や計画が選手に納得できないとき

②練習の条件がよくないとき

③選手の起用、練習時の指導に、監督、コーチの〝えこひいき〟が感じられるとき

④指導のしかたが、がみがみ一点ばり、能率主義的で、人間味に欠けるとき

①会社や上役の方針、計画などが、部下に納得できないとき

②作業条件がよくないとき

③昇進、昇格が機会均等でないとき

④給与が公平だと思われないとき

⑤上役の監督指導が公平適切だと思われないとき

⑥会社の労務管理が能率第一主義で人間味に欠けるとき

⑦社内のコミュニケーションが円滑にいっていないとき

⑧職場の人間関係が円満にいっていないとき

⑨厚生施設などが不十分なとき

⑩仕事が単調で、おもしろくないと感じられるとき

チームづくりに役立つ

不平不満
まず相手に

こんなとき不満が・・・・

⑤えこひいき、やチーム内の〝異分子〟などのために、チーム内のコミュニケーションがうまくいっていないとき

⑥このような場合に、監督やコーチが適切な助言、指導をしてくれないとき…など。

「不平不満には建設的なものと破壊的なものとがある。建設的なものは進歩の原動力だからむしろ、なければこまる」と語るのは商工中金経営相談所専門指導員の内田知二さん。

大切なのは不平不満を自由に話し合えるような職場のふんいきづくりだ。

〈コーチは本当に自分たちのことを思っていてくれる〉という意識が選手にあれば、信頼感は、日々の接触の密度によって高まってくる。

「少なくとも、一日に三回以上、上役と部下とが、ことばをかわすなど、接触することが望ましい」と内田さんはいう。

相手が不平不満を抱いていることを察知するコツとして、松本さんは、つぎのような方法を紹介する。

①態度でわかる——相手に反抗的になる。露骨に出さない場合でも、遅刻や欠勤、いいわけがふえる

②動作でわかる——動作がおっくうそうだとか、ノロノロしているとか、仕事をすぐ始めようとしないなどの傾向がある。

③言語でわかる——一般に話す声にツヤがなく、話し方に抑揚がなく、平板で、ことばづかいも感情的でトゲトゲしくなる。

④仕事でわかる——仕事が粗雑になり、ミスが多く、なるべくさきにのばそうとする。

⑤表情でわかる——顔がこわばり、口元のあたりがゆがんだりピクピクしたりする。

では、相手の不平不満を察したり、相手からそれを訴えられたときはどうしたらいいか。

これについて専門家の意見は一致している。「一番大切なことは、虚心に相手の話をよく聞くことだ」

相手のいっていることについて批判したり、意見を述べたりせず、相手のいっていることを要約してくりかえし、確認する。もやもやを吐き出した相手はそのうちに冷静になり、自分自身を客観的に見る余裕が生まれてくる。

そして自分で結論を出して、納得する場合が多い。そのときこちらが決して指示を与えるようなことはいわぬことだ。

東京女短大陸上競技部長

吉岡隆徳氏

（朝日新聞「ゆっくり話そう」からの抜すい）

——ところで、コーチのむずかしさは？

吉岡 コーチにも、たまに教えるものと、選手と寝食をともにするマンツーマンと二種類あるが、本当のコーチはマンツーマンでなくてはできない。

選手はイヌやネコとちがうのだから、ただやたらに走れ、といってもダメ。選手の人間性とか日常生活など、すべてを知ったうえでないと…。こうなると選手よりむしろ、こっちの方が苦しい。

——コーチの心得は？

吉岡 やはり、まず勉強。競技だけでなく、生理、心理、解剖学的な面までにも広げてほしい。しかし理論に走ってはダメで、つねに現場に出て若い人の心をくみ、ともに苦労する気持が大切だ。グラウンドでは鬼だが、一歩出れば、やさしい人間になることだ。

《コーチのあり方は》
まず〝選手〟を知れ

——マンツーマンが選手の主体性を奪うことにはならないだろうか？

吉岡 選手とコーチの話合いで練習計画を立てていくのだから、選手が自主性を失なうことはない。日本の監督やコーチは、選手の面倒をみすぎるといった批判もあるが、やはり試合中はかゆいところまで手が届くくらい手伝ってやって、余計な神経を使わせないようにしてやるのが本当ではないか。

——コーチには、自分の名誉欲を満たすためか、選手をかかえこむ悪いクセがあるようだが

吉岡 たしかにそうだ。自分が育て、強くした選手を手放したがらないコーチや高校の先生が、やたらに多い。結局、最後には選手を殺してしまうのだ。

日本の陸上が強くならないのは、こうした指導陣のエゴイズムかもしれない。そこですすめたいのは二元的コーチ法。たとえば、三段とびの村木をコーチする場合、ボクの範囲は助走まで。実際の跳躍は専門の小掛君あたりに任せるのだ。

こういうふうにセクショナリズムを捨てて、学校とかクラブなどのワクを越えてやれば、きっと金メダリストが出てきますよ。

（吉岡氏は、もと陸上百m日本記録保持者。東京五輪で活躍した飯島秀雄＝現ロッテ＝らを育てた）

家庭婦人教室 ❷

まず、すっきり歩こう

＜歩きかたで変わる体格と性格＞

伊藤基記

前号で家庭婦人の生活の中に復活して欲しい運動を羅列（られつ）しておきましたが、御同感いただきましたでしょうか。

今日はその中の一、二のものについて少しくわしく説明しておきましょう。

㈠ さっさと歩く

私は永年の経験から、その歩き方をチョッと見ただけで、その方の体格や運動能力を知ることができると自負しています。

ノッシ、ノッシと歩くおすもうさん、チョコ、チョコ歩く小柄でやせた人、スマートにさっさと歩く人、このように体格によっても歩き方は変りますが、姿勢や気分によっても大きく左右されます。いつも、ノロノロと歩いておれば、それにあてはまるような体に近づいてゆきます。

そもそも人間の体は、**常用的な運動があると、その運動に順応してゆきます。**鍛をにぎったり、鉄棒に下ったりすれば、掌にまめができるでしょう。まめは急激な圧迫に対しては、水ぶくれになってしまいますが、次第に圧力を増大してゆけば、その圧力に耐えようと細胞分裂がその部分だけ旺盛になって、皮膚が厚くなってきます。

これがまめの実体です。急に激しい跳躍をしたり、けんすい運動をやりますと、それから数時間して、別に悪いものを食べたわけでもないのに、下痢をすることがあります。跳躍やけんすいに応じるために、人体は非常時の飛行機が塔載物を投下してしまうように、体内のものを放出しようとします。神が与えた不思議な力という外はありません。

従って、いつも沈んだ気持でトボトボと歩いている人は、いつの間にか、体つきまで貧相になってきます。別に無理して意張って歩く必要はありませんがすっきりと体を伸ばして、さっさと歩き、行動することが大切です。

人間は歩く動物です。いくら交通機関が発達しても、人間から歩行を奪うことはできません。一年、二年とたつうちに、歩き方によって、その人の体格に、いつの間にか大差がうまれるから順応とは恐ろしいものです。

さて、スポーツで色々の補助、補強運動をやりますが、歩くことにも、補強運動があります。もともと体力がないのに、無理して、立派に歩こうとすると、どうしてもギコチなくて、疲れも早いわけです。それで、上手な歩き方をするようになりたいと思う方は、次のことを実行して下さい。

① 大またで十歩か二十歩あるく。（その場で足を大きく前後に開いてもよろしい）

② その場で強くももあげ足踏みをする。

③ 競歩のまねをして二、三十歩、最大速歩で歩く。

④ 軽い跳躍か、かかとあげをくりかえす。

これだけのことを毎日実行して下さい。三カ月もすれば、歩くことが楽しくなります。半年すればもうやめられません。



▲歩くことが若さと美しさへの近道

そうして、最後に我田引水になりますが、バドミントンのようなスポーツをして下さい。バドミントンと歩くことに何の関係があるでしょうか。さあ、そこが大切な点です。

バドミントンはコートの中を前後左右に急速に歩き廻るスポーツだといえませんか。ももを急激にひきつけなければ、フライト（飛球）に追いつけません。大またはつきものです。急ぐといえば、これほど急がされるものはありません。跳躍や挙踵はやらなければゲームになりません。

上述の四つの補強運動はまるであつらえたように、バドミントン・コート内のフットワークの中に含まれているのです。

しかも、これは補強のためだと薬をのむように、一つ一つやるのでなくて、夢中になってやっているうちに、いつの間にか歩くための補強ができているのです。いやいやでなくて、楽しい、いわば精神的な唾液の分泌する中に、貴女はいつの間にか、スッキリした体つきになり、さっさと歩き、きびきびとした動作をする、女性になれるはずです。うまくバドミントンにひっぱってきたな、などとカンぐらないで下さいよ。

ハネを追って歩き廻り、思いきりひっぱたいたあと、汗を一ふきしてのむ水のうまさを味わっただけでも、貴女は何か人間として一番大切なものを収穫しているはずなのですから。

中学校編

いいショットは〝足元〟から

⑩ 各種フットワークの基本

遠井稔男

バドミントン競技は、守備より常に攻撃的であった方が有利である。これからのバドミントンは、より一層スピードがくわわり攻撃的に進歩して行くと思う。先ず攻撃の土台になる技術はフットワークである。いくら素晴らしいストロークを持ち、早い強いショットを持っていても、フットワークが未熟であっては用はたりない。要するにコート上を自由自在に早く動き、シャトルを待ち受けて、正確にショットすることがフットワークの追求するところであり、理想とするところである。フットワークは、こうだということでなく、基本的なことについて前回同様に述べてみたい。

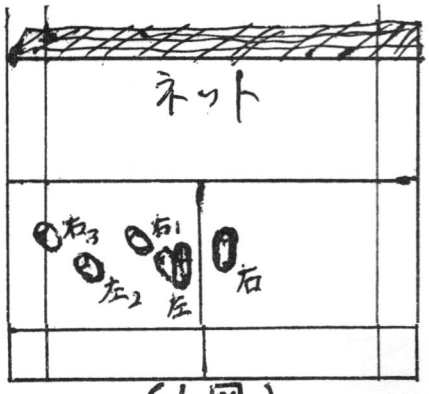
◉ショート・フットワークについて

○ホーム・ポジションより前方に一歩動いてショットする場合は、右足を、バランスを乱さずに出す（ラケットを持っている側の方の足）

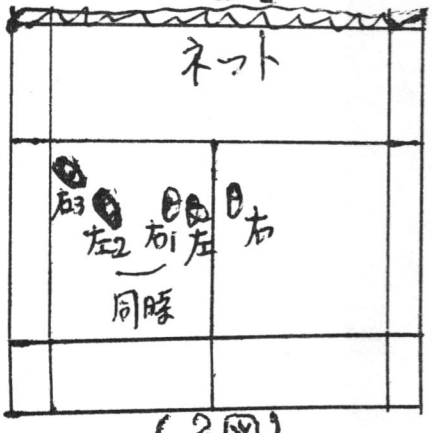
○ホーム・ポジションよりバックコートに一歩後退してショットをする場合は、右足を一歩後退し、体重をとる。

○レフト・サイド・コートに一歩動いてショットする場合は、右足をバックハンド側に前斜に出る。

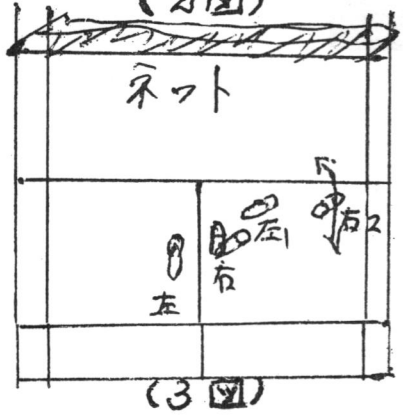
○ライト・サイド・コートに一歩動いてショットする場合は、左足を軸に右足をピボットするか、左足を右足の前斜に一歩出すかである。以上、各々のもどり方は、一歩出した足をすみやかにその反動を利用してもとの位置に戻すことが大切である。



（1図）



（2図）



（3図）

◉バックハンド・ショットのフットワークについて

○まず体を左足で軽く支えながら左に開き、右足を左足の前を通して左に移し、左足を右足の右横に移し、左足を軸にして右足を左足の斜前にピボットのようにして出し、ショットする。戻り方は右足から左・右・左でもとの位置に戻る。（図1）

○右足、左足同時に左へギャロップして動き、左足を軸にして、右足を左足の斜前にすばやく出す。戻りは右足より引いてギャロップで。（図2）

◉フォアハンド・ショットのフットワークについて

○まず体を右足で軽く支えるようにして右に開き、体重を右足に移し、左足を右足の前を通して右に移し、右足を左足の斜前、または横に出す。（図3）

◉バックコートでショットする場合のフットワークについて

○自動車バック

ホームの構えから腰を幾分低く落し膝を曲げ、足を交互に小刻みにスライスしながら後退する。

○クロス・バック

最初にさがる方向の足をピボットし、ネットに対して半身になって右足左足とクロス・ステップで後退する。これからのフットワークはこの方法が研究されよう。スピードとバランスと相手の視覚範囲などを考えるとバックへのフットワークによいと考える。

○スキップ・バック

両足を交差しないで、どちらかの足を何回でも踏み出し後退する。一般に左足でけって右足を踏み出すことが多い。ショットする場合は右足から左足に重心が移動し、シャトルを打つことになる。

（バックコートでの足の動き方については紙面の関係で略します。）

入門編 ❶

まず、競技の特色を理解せよ

近道―絶対に必要なものだけ覚える

最近、本誌の読者層は、しだいに幅広くなってきた。これら読者の中には、全くの初心者に近い人も多い。

おもしろそうだから、なんとなくやってみた、あるいは、かなり長い間やっているが、練習の時間がそんなにとれない――こういう人たちである。

学校にクラブがない中学生、会社の中で昼休みのレクリエーションとしてやっているサラリーマンやOL、家庭のご婦人、中年すぎの人の腹ごなし、同じ勤労者であっても、仲間もいない人、定時制に通う高校生…

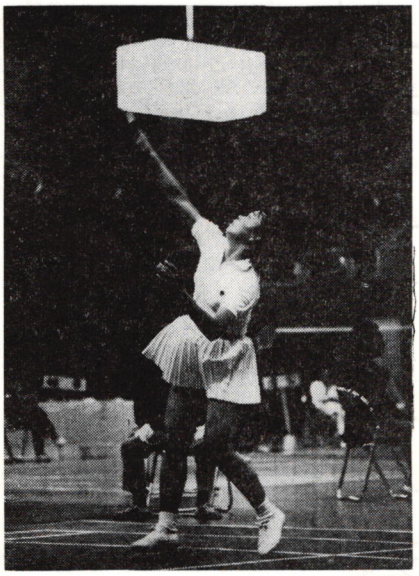
数えあげればキリがない。バドミントンは、それだけ大衆にとけ込んだスポーツである。しかし、こうした人々の最大の悩みは、①教えてくれる人がいない②場所がない③時間がない、ということだろう。

スポーツは、それ自体が楽しみなのであって、万人がチャンピオンをめざす必要は全然ない。だが、レクリエーションであっても、当然、やるべきことをないがしろにしてしまうと〝ヘタはヘタなりに固まって〟しまう。その結果「つまらないから途中でやめてしまう」ことになりがちだ。

「初心者むけの入門書を教えてほしい」という読者からの要望も、このごろは非常に多いが現実問題として、市販されている入門書の数は少なく、手にはいりにくい。

そこで、本誌では、①一人でも練習できる、②これまでの規則や習慣に、あえてとらわれない――ということを前提に、入門シリーズを続けていくことにした。

× × ×



▲まず打点から…

スポーツが楽しいのは、自分の運動能力が確かめられ、練習によっては、いくらも上達の可能性があり、試合や競争を通じて、自分と他人との優劣の比較がつくからである。

うまくなりたい、というのは自然の欲望であるが、そのためには、そのスポーツの特色を理解するのが先決である。

上達に近道はない、という。それは単調で、あくことのないくりかえし、という〝基礎〟を飛びこえて、大成は期しがたいという意味であり、〝近道〟はやはりあるのだ。

それが「競技の特色をつかんで、そこから当然、考えられる効果的練習をやる」ということである。

バドミントンは、バウンドしたタマが打てない。いやでも空中に浮かんでいるうちに拾わなければならない。

当たり前じゃないか、というなかれ。この原理から、なにが引き出せるだろうか。拾う、打つという動作で一番、楽なのは腕をいっぱいにのばして、高い点から打ち下すことだ。最も拾いにくいのは、地面すれすれのタマだ。

ことにバドミントンはネットが高い。コート中央で1・524㍍、ということは、身長160㌢の人の目の高さまであるということだ。

テニスなら、ドロップやヘアピンのようなフライトが来た場合、バウンドさせてから返球できる。リターンの角度によってはエースにもなる。

だが、バドミントンではそうはいかない。地上すれすれで拾ったタマを、ネットと平行に150㍍以上もハネ上げて返球することは、技術的にもむずかしいだけでなく、九分九厘、相手にポイントをとられる体勢である。

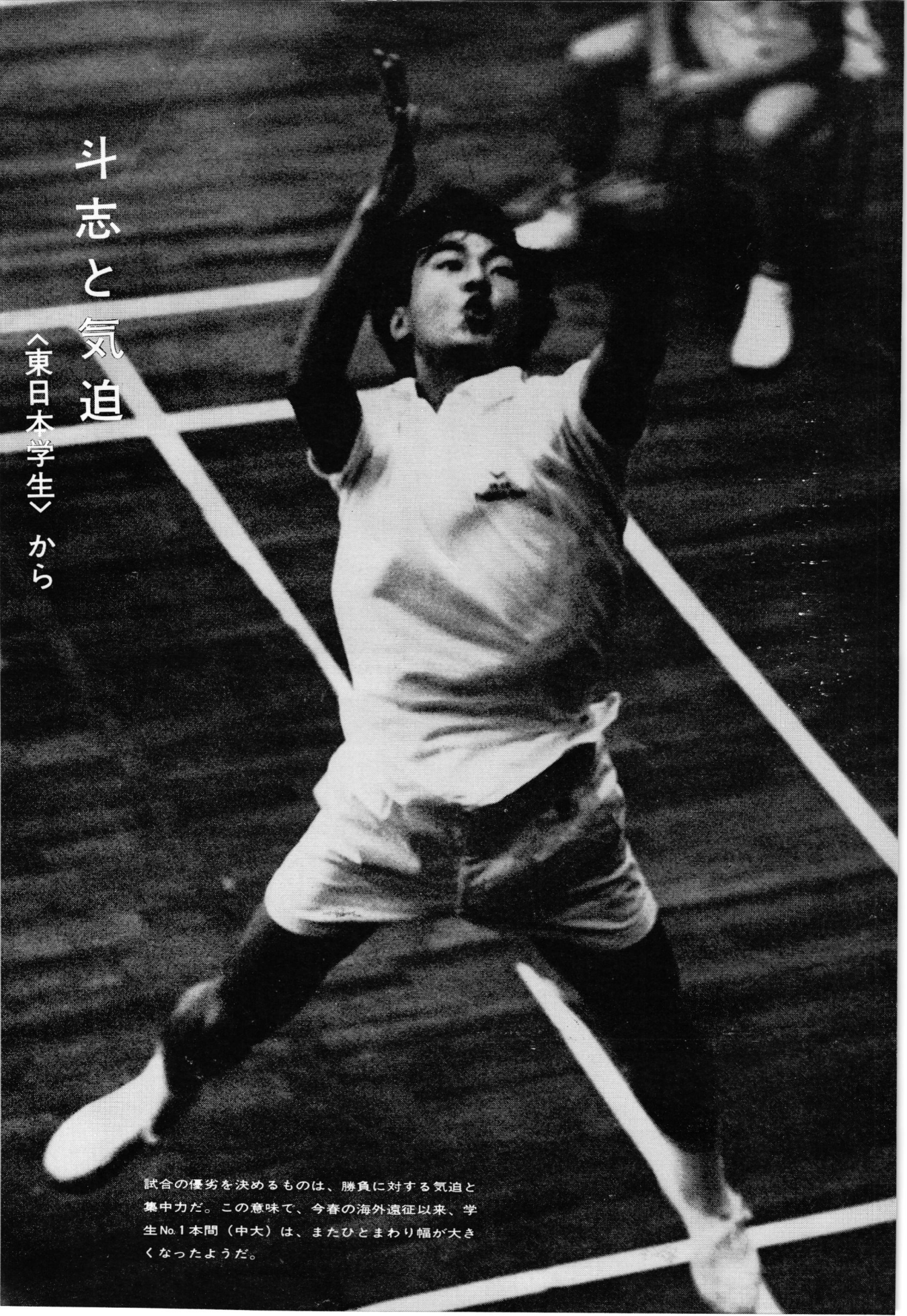
されば、答は簡単。自分は、いつも高い位置からシャトルを打ち下し、相手には、常に低い位置から拾わせることが大事だ。第二は、相手をネットから遠ざけて前進させないことである。

どんなに上達しても、原理は同じ。理くつ通り、なんでもかんでもできれば、万人が世界チャンピオンになってしまう。初心者や時間、コーチにめぐまれない人が、いろいろやろうとしてもムリがある。

まず絶対に必要なことだけをおぼえる――これこそ上達の近道である。では、次回から具体的な問題にふれていこう。

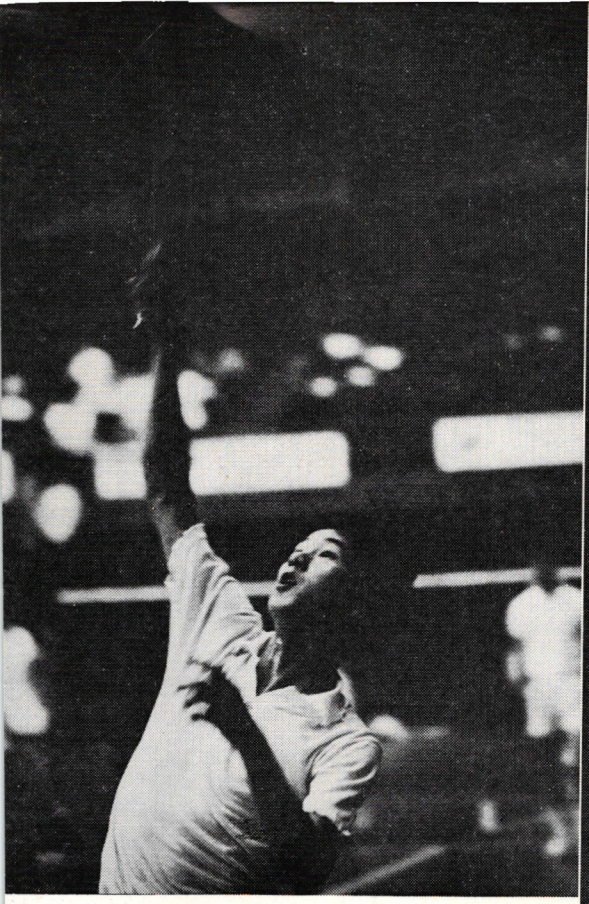
斗志と気迫

〈東日本学生〉から



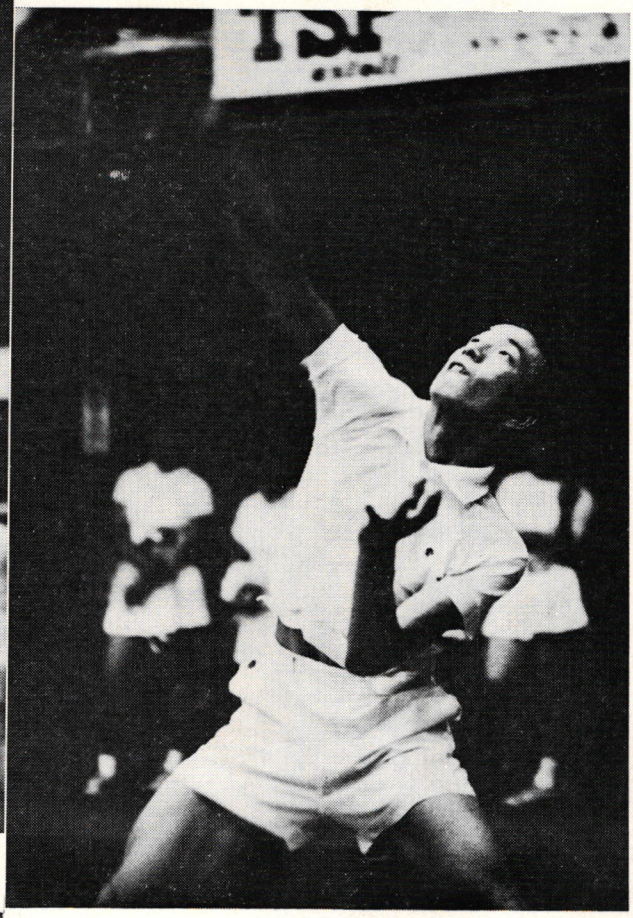
試合の優劣を決めるものは、勝負に対する気迫と集中力だ。この意味で、今春の海外遠征以来、学生No.1本間（中大）は、またひとまわり幅が大きくなったようだ。

本間を追って……八人のサムライもしのぎをけずって健闘

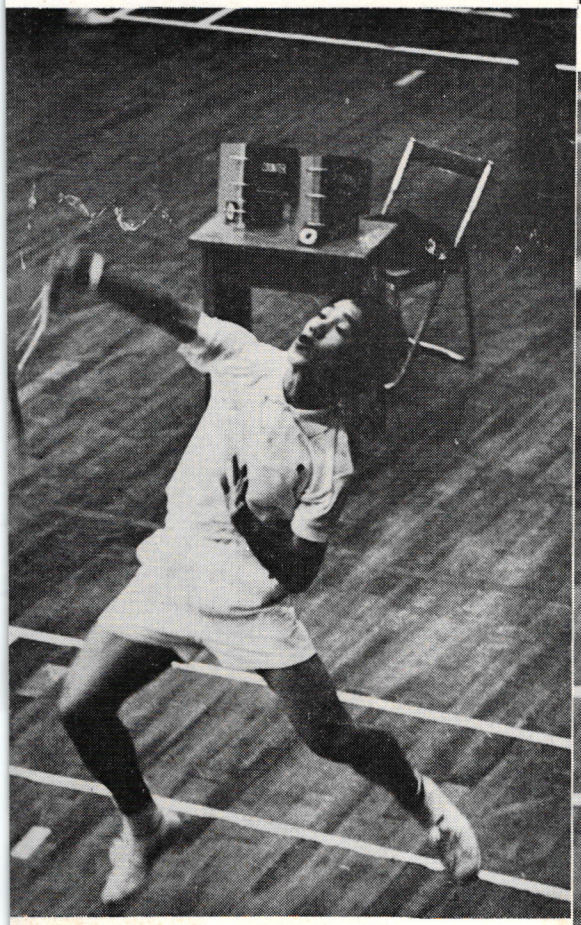


岩下 一雄（中大四年）

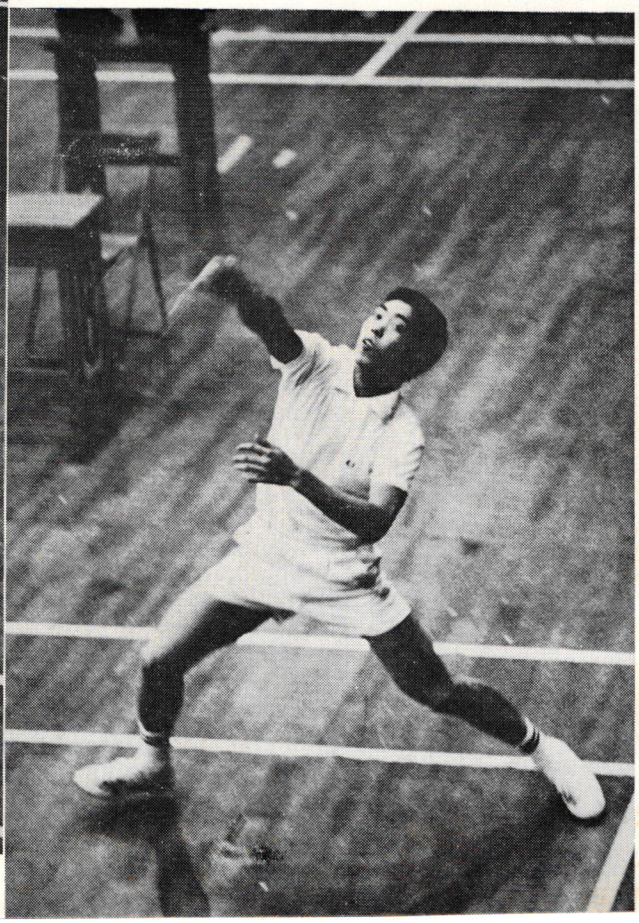
尾崎 幹雄（中大一年）

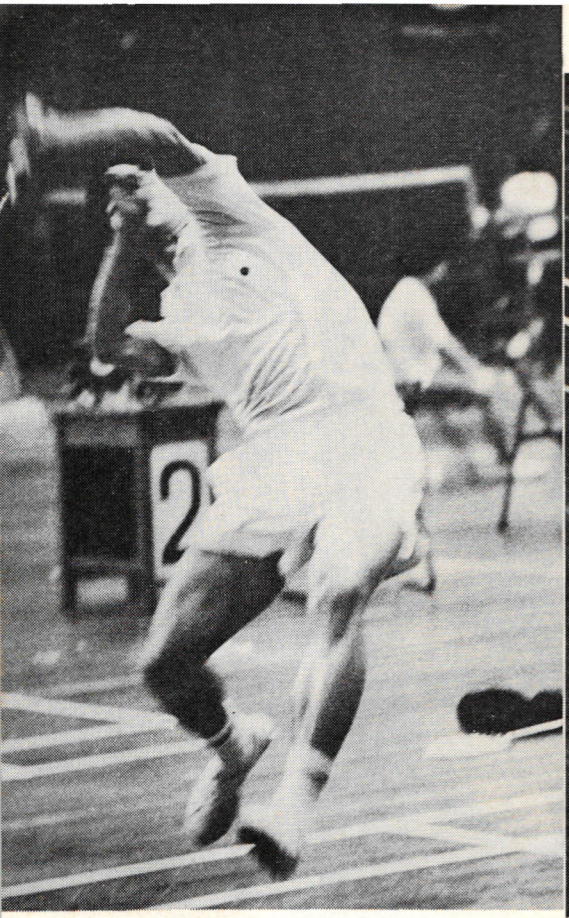


鷲尾 正一（中大三年）



田所 光男（法大二年）



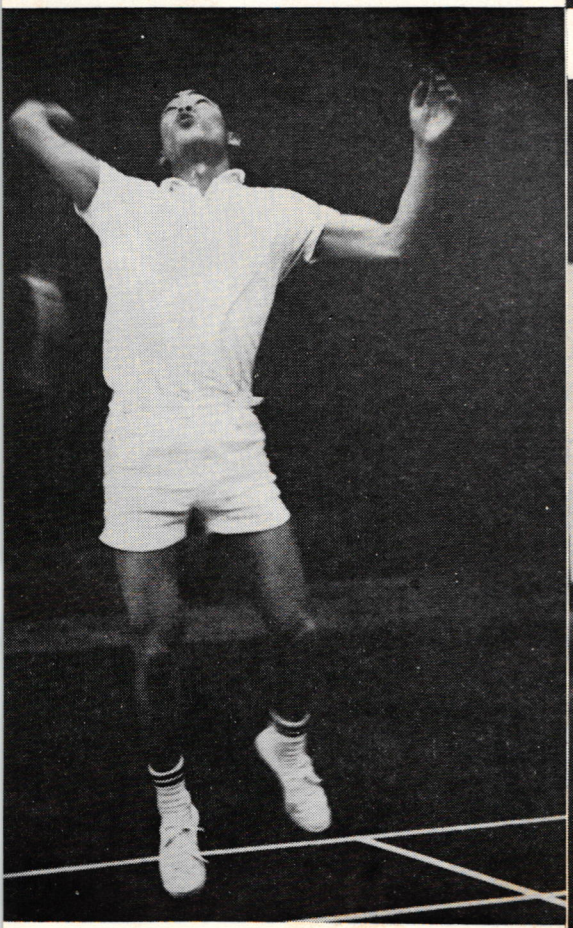


今泉　勉（中大四年）

谷口　寛（立大二年）



岡田昇久（法大一年）

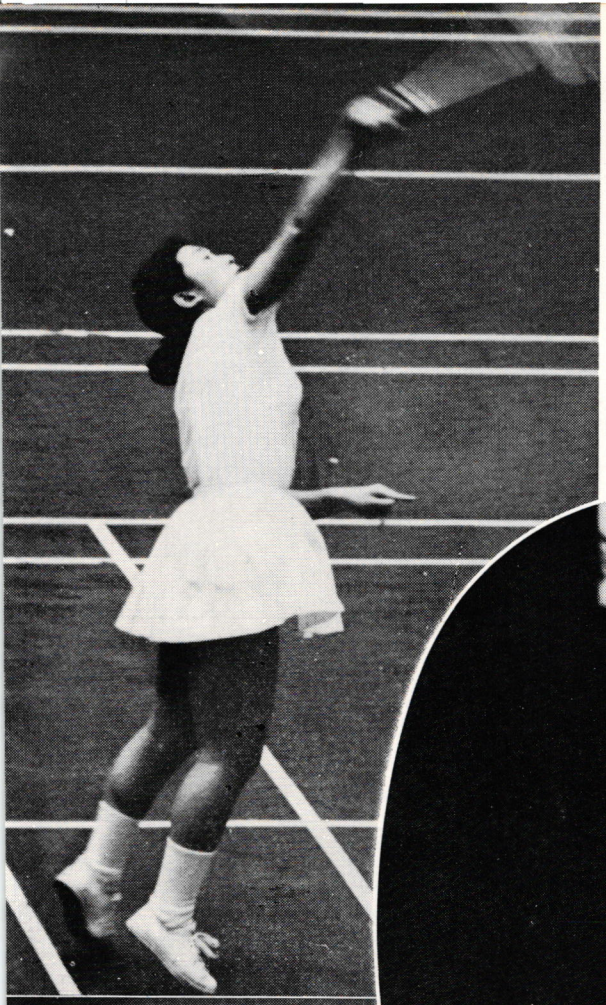


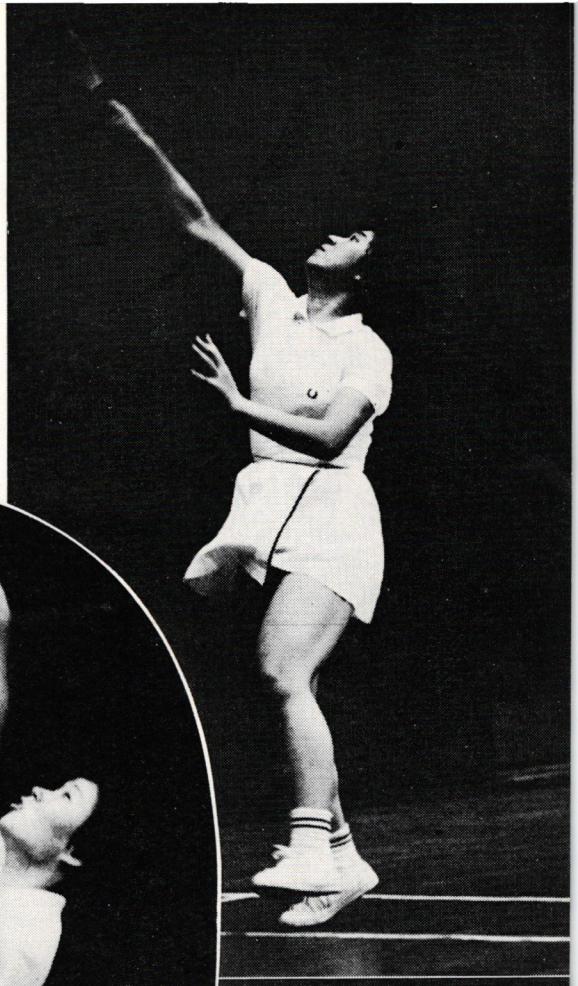
今井茂満（早大三年）



関東の学生界を中心に、新進の台頭などで、にわかに活気づいてきた。前号で紹介したように〝大型〟の選手が続々と現われている。ここでいのことではない。気力、知力の大型化もある。体力にくわえて、精神のスタミナが充実した選手が続々とつくられたときこそ、日本の王座が現の時間で八面のコートを撮りまくるのは至難のわざ。ここに登場しなかったサムライ諸氏には、このつぎの機会を期待してもらおう。

王座をめぐって











↖堀川栄美子（日体大）　➡谷沢三輪子（日女体大）

⬆本間恵美子（日女体大）

↖高坂　薫（青学大）　⬅小片千恵子（日体大）



植えかえて使ったシャトル

忘れられない国体開会式の感激

読切連載【第9回】
日本コロムビア勤務
小林歌子
（第4回、第7回全日本ダブルス選手権者）



▲第18回全日本実業団選手権で，右が筆者

昭和二十二年二月、石川島織機株式会社に勤めていた頃、会社の人がラケットを二本持ってきて「やってみないか」といわれたのが、バトミントンを始めた動機です。あれからもう二十三年、いまだに〝現役〟としてやっていますが、すぎ去った年月が夢のようです。

バドミントンを始めた頃は、戦時中食堂として使っていた〝ハリ〟のある天井の低い所が体育館で、ハイクリヤーを打つと天上にぶつかって自分のコートに落ち困まったことをおぼえいます。

学校時代、スポーツはいっさいやったことがなく、またカケッコもきらいだった私なので、バドミントンをやっているなんて想像もつかない、なんて皆にいわれます。だから、始めたばかりは練習がほんとうにつらかった。お昼休みには、お弁当が終るか終らないうちに走っていってハダシで練習したこともありました。真冬の朝、会社が始まる前、遠藤文子さん（ダブルスのパートナー）とこごえながらシャトルを打ったことも今では楽しい思い出です。

神奈川体育館では佐藤芳朗さんや、現在の杉田夫妻と四人だけで、ずいぶん練習を積んだものです。当時はシャトルが極端に不足していた時代で、下のコルクの部分を製造元へ持っていっては羽根を植えかえてもらったり、古いシャトルから、良い羽根だけを選んで自分たちで植え替えて使ったものです。

最近の若い人たちは、恵まれて育ったせいか、ぜいたくで、すべてをお膳立てしてあげてもなかなか長続きしないんですね。うるさいことをいうと、すぐやめてしもう。やり出したからには、責任を持って他人にめいわくをかけず、自分自身の力をためして頂きたいと思います。

わたしは最初からシングルスはあまりやりませんでしたが、ライバルは池田とよ子さん（当時古河電線、旧姓吉田）保田久子さん（トヨタ自工）たちで、とくにトヨタとは全日本実業団大会で張り合ったものです。

わたしのバドミントンは、特定のコーチについて習ったのではなく、YMCAの広田先生や村上さん、菊地さん（日産自動車）などの練習で注意して頂いたり、当時の名選手、岡淳一さん、慶大OBの藤井さんらのプレーをみて技術を覚えました。

忘れられない出来事は、第五回の名古屋国体で、初みて総合開会式に参加した感激と、全日本選手権（石川県）のダブルス決勝戦で、吉田・田村組（神奈川・東京）に、また高松の全日本で単の三位決定戦に残り、同じ神奈川の藤田さんに、それぞれ逆転負けしたことでしょう。それに、地元神奈川の全日本では大川良子さん（今の杉田夫人）と組んでダブルスに優勝したことも忘れることの出来ない思い出です。

「たゆまざる努力」――私はこれを〝座右の銘〟として今日までやってきました。とくに学生時代、スポーツなどやったことのない私が、今もってバドミントンのような激しいスポーツを続けていられるというのも一つには〝努力〟だったと思います。つらいことや、時にはいやなこともありますが、自分に「目標」があるということが、生活に張りを持たしてくれるんですね。

今はコロムビアの部員が少ないので、まだレギュラーですが、県協会の常務理事、国体ブロック予選や五大都市大会の女子監督を受け持っています。

最後に、この紙上をお借りして日本協会にお願いしたいことがあります。男子では社会人大会が三十、四十、五十才以上と年令別に分かれているのに、女子は種別がないというのはどういうわけでしょう。この年になって高校出たてのバリバリのプレーヤーと試合するのはかないません。せめて三十才以上だけでも年令別にしていただけないでしょうか。

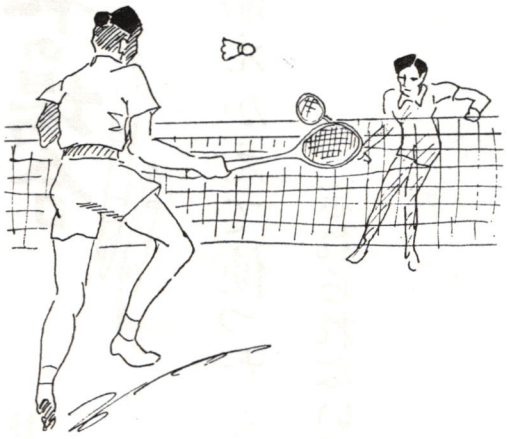
入社試験に運動テスト

中国電力……体力のない社員はごめん

日経連も関心、全国に波及か

体力のない〝モヤシッ子〟社員なんかいらない――広島市の中国電力（従業員約一万一千）では、男子の社員（大学、高校卒）採用試験に〝体力テスト〟を実施している。

最近、サラリーマンの体力づくりが叫ばれているが、これは高校、大学時代にスポーツをやる人が少ないため。以下朝日新聞からの記事の要旨だが、この中国電力の試みについては、全国大手企業の連絡組職・日経連などでも注目している。



▲頭ばかりでなく体力や大事

本誌の愛読者であるバドミントンプレーヤー諸君は、サラリーマンになっても、体が弱いため競争から落伍する、なんてことはないだろうが、入社試験の体力テスト、近いうちに、どこでもやるようになりそうだから充分、気をつけてほしい。

× × ×

中国電力社長の桜内乾雄氏は十年前から広島県体育協会の会長。さらに常務の中野重美氏は同副会長在任十九年のベテラン。このために当然、スポーツに関心が深かった。

「社員は知力とともに体力をかねそなえていなければ」と以前から考えていたので、四十二年から〝体力テスト〟を実施することになったそうだ。

「国体の入場式で、選手が倒れることが多い。郷土を代表する選手でさえこれだ。一般のサラリーマンの体力は推して知るべし。お寒いかぎりだ」とは中野常務の話。

テスト項目は広島大の体育学の先生にたのんで決めてもらった。①反復横とび②垂直ジャンプ③背筋力④息こらえ（何秒間呼吸しないでいられるか）――という四つ。

〝人間性〟もわかる

筆記や面接がよくても、この体力テストで落第させられるものもいるという。この結果について、同社では「これまでのありきたりの身体検査や健康診断だけではつかめなかった資料が得られた」そうで、中野常務も「テストに取り組む態度で、精神の集中力や協調性などもわかる」と述べている。

もっとも、テストの効果はすぐに現われるものではないが、この話を聞いて「参考にしたいから」と同社を訪問する企業があいついでいるという。

日経連でも、このほど東京で開いた〝体力づくり指導者養成講習会〟が好評を得たので、今後も内容が充実、継続していくことを決めた。

体操が新聞に折込
広告普及に新手のPR

競技の普及宣伝をどうやったらいいか。どこの競技団体にとっても一番、頭を使うのがこの問題、体操（日本体操協会）では、みごとにその答を出した。

毎朝配達される新聞には、いろんなチラシや広告がはいってくるのが常。これからヒントを得たもので、さる七月中ばの世界選手権代表選考会（NHK杯）にさいし、大会へのおさそい状とアンケート（例、あなたはこれまで体操を見たことがありますか、体操をやりたいと思いますか）を新聞に折り込んだ。

この製作費は別として、折り込みの手数料だけなら一枚一円というお値段。手はじめは、東京・渋谷の周辺だけ（一万枚）だったが、今後は大きな大会のたびとか、府県ごとに地方協会が中心になって、など、回を重ねていく方針。

返事をよこした人は協会に記録して、今後、いろんなサービスをするといっている。体操は競技会の入場者がへっているため、考えたわけだが。

★…パドでも参考になるネ。

日経連の早川勝専務理事は「健全な精神は健全な肉体に宿るという。このためにはまず体力づくりが必要だ。体力がいかに人生に大切なことかを受験者に浸透させるためにも、中国電力の試みは大変けっこうなこと。うまくやれば職業能力判断の材料にもなるでしょう」といって乗り気。

「できれば、他の一部企業でやってもらい、好結果が出たら全企業に普及させいらどうか」

× × ×

文部省が調べた国民の運動能力調査書によると、二十代の体力が大学三年ぐらいで落ちることがわかっており、大学スポーツの必要性も、いま再検討されている。

一方、日本体育協会では、去年から「大学生の体力を向上させるためにも、入社試験に体力テストを加えるべきだ」と力説。



スポーツ界とお化け

水森　亜土

お化けのシーズンですネ。あっちこっちで怪談ナントカ、カントカとか、吸血鬼ドラ、コラとか、忙しいタレントなみにご活躍です。そいで、こちらも歩調をあわせてという訳じゃないンでしょうけれど、スポーツ界ていうのもお化けなみに不思議なとこですネ。アタイの住む芸能の世界というのは、変わりもの多いとこ、裏の裏のあるトコ、汚ないとこ、エゴイストの多いトコ、とかわりかし色メガネでみられ、しかも、そうだ、そうだといわんバッカシに、たくさんの週刊誌なんかが、ああだ、こうだとかきたて、たくさんの週刊誌ショウバイの方々の生活に尽くしています。

ところがスポーツ界てトコは、昔っから、精神的で、明るくて、礼儀正しくて、さっぱりしていてとホメラレルことばっかり。一番いい例は学校のスポーツ部でしょ。スポーツ部員の就職率のいいのはどなたもご存知のことです。根性があって、先輩をよくたてるってひっぱりだこ。おまけに、学校当局のおぼえもめでたいとこですからネ。ある大学の演劇部の人がボヤいていました。野球部の人は試合のため休んでも公休になるけど、演劇部の人は、学校がみとめている他校との交換会演劇で休んだら、欠席になるって、スポーツ部は優勝すると学校のするどって不思議ネ。

スポーツ部は学校のコマーシャル部門で大事にされるのネ。

演劇部はかわいそう。なんかと言っては白い目でみられ、反抗的だといわれ、ママ子扱い。それに、演劇部員を率先就職させてくれる会社もないようですネエ。

こんなに優等生扱いされているくせに、スポーツ界の人たちのうかおととい、新聞よんでたら、重量あげの三宅選手がテレビに女優サンと一緒に出演したと言ってしかられてました。アマの資格を汚すって。三宅サンは賃金はもらわなかったというのですから、女優サンとキョウやお仕事しないで練習はっかりしているとこもあるってネ。とすればプロと変わりないみたい。会社の専属のチームなんか、プロ野球でいうなら、近畿電鉄が近鉄というチームをもっているっていうのにかわりないみたいな気がするわ。ホント変ネ。プロになるとオリンピックに出られないからかしらン。アタイのアタマがわるいからわかんないのかしらン。

拓大のしごき事件だって、ずい分まえのワンダーフォーゲルしごき事件の時に〝反省〟したはずなのにネ。運動部の〝根性作り〟と〝しごき〟の関係は〝天才と狂人〟の関係なのネ。〝紙一重〟なんでしょう。黒い霧やしごきにさいならして、スポーツ界は、看板通りの汗と気力とさわやかなものになってほしいわァ。

東京中日スポーツより

テニスに造反？
選手会が誕生

日本のアマ・スポーツ界で初の「選手会」がテニスに誕生。

昭和三十年代後半に〝実力日本一〟の名をほしいままにした石黒修氏(三)＝ウインブルドン・テニス・ショップ経営＝が会長で、デ杯代表はじめ、男女の第一線級八十五人が入会している。

日本のテニスは戦前、オリンピックでメダルをとるなど、国際級だったが、デ杯（バドミントンのト杯、ユ杯のモデルで、団体の非公式世界選手権に当たる）戦では、戦後、まったくふるわない。

予選に当たる東洋ゾーンで、もう十五年もインドなどに負け続け。そこで①不振は選手にも責任があることを自覚する必要がある　②しかし、日本庭球協会の強化策や指導方にあ、いろいろ問題があった――として、選手の意志をまとめ〝テニス王国〟再健のため、協会運営にも反映させていこうというのがねらい。ひらたくいえば、一種の〝造反〟か。だが、一体、それまで協会はなにをしてた…

★…わが協会は大丈夫かネ。

〝社内オリンピック〟でも
富士電機三重　バドミントン大人気

北から南なら N S

前略　私は三重県四日市でバドミントンに精出している一会社員です。

東海地方はバドミントンも盛んなのですが、あいにくと三重県は、まだまだのようです。だから私のような若いものが、がんばっていかなくてはと思ってシャトルを追っている毎日です。でも昭和50年に予定される三重国体までには、もっと強くなって〝バドミントンの三重〟といわれるようになっていることでしょう。

私の勤めさき、富士電機三重工場でもバドミントン部があり活発に活動しています。

工場内では〝社内オリンピック〟と称してスポーツ大会が行なわれていますし、バドミントンの大会も今年から始まりました。スポーツ界の底辺拡大を望んでいる私ちにとって、うれしいかぎりです。

バドミントン部としては、もっともっと若さにあふれた強力な新人を求め、底辺ばかりでなく〝頂点の強化〟も果たしていきたいと考えています。

先日、わが社の体育館で行なわれましたバドミントン大会のスナップが、社内新聞にのっていますので同封します。

われわれはバドミントンを広く知ってもらおうとがんばっています。そして、社会でバドミントンが脚光をあびる日が、いつか来ることを信じて、苦しい練習にも耐えている我々です。

協会の方々も、我々のような人間が多くいることを知って、今後、より一層がんばって下さるよう希望します。

（富士電機三重工場・バドミントン歴七年、22歳の技術者）

編集部から――このような職場でのお話を、どしどしお送り下さい。期待しています。



社内オリンピック・スナップより

◇竹中選手が郷里の養護学校で手ほどき

今春の全英選手権で優勝して〝世界の女王〟となった竹中悦子選手（新潟青陵短大助手）が六月十一日、郷里・石川県の野々市町の県立養護学校を訪れて生徒にバドミントンの手ほどきをした。

竹中選手は出身高の金沢二水高のクラブ員が、この養護学校のクラブ員と練習の交流をしていることを知り、ぜひ、みずからも「バドミントンを通じて薄幸な子供たちを励ましたい」と指導を買って出た。

この日、竹中さんは彼女の育ての親・奥村義明氏（二水高コーチ、県協会常務理事）といっしょに同校を訪れ、まず最初に寮母の川上さん、奥村先生らとトレーニングを兼ねて模範試合を披露した。

続いて基本のストロークの打ち方、ハイクリヤー、ドロップ、スマッシュ、トライブ、ヘアピンのショットをつぎつぎにくわしく説明した。

最後に、クラブ員のなかの十人の代表を相手に、ふたたび試合したが、集まった小学部四年生から高等部三年生までの生徒約百二十人は、終始、そのみごとな技に、ためいきと歓声のあげっぱなし。

竹中さんは「今後ともこういう機会があれば、できるだけ普及のお役に立ちたい」と語っていた。（水陸中日、北国新聞から＝奥村義明氏提供）

◇ア大会予選には必ず

湯木選手ほぼ全快

欧州遠征でアキレスを切り療養中だった湯木博江選手（前年度全英選手権優勝）がほとんど全快した。

七月初旬の東日本学生に姿を見せた同選手は「もう試合できるぐらいの状態だが、出るからにはどんな大会でも優勝したいので〝自重〟した。九月のアジア大会選考会には必らず…」

〝国際友情のつどい〟で　≪拓殖大≫
在日インドネシア人と交流



六月十日、拓殖大学で〝国際友情の集い〟という行事を催しました。これは在日外国人、一般社会人、および学生が一堂に会して交歓する恒例の行事。

そして、言語、風習、宗教、人種、性別、国境を超越してお互いの心を吐露して語り合い、相互理解を深め、友情をはぐくむというのが目的です。

その中で、われわれインドネシア研究会では、親睦を計るために、インドネシア人と、インドネシア語を学んでいる学生との間で、バドミントンの試合を行ないました。

当日はインドネシア人が三十名参会しましたが、そのうちの十名と日本人十名が出て、体育館二面のコートで対戦、そのあと、レセプションで歓談しました。

バドミントンはインドネシアの国技だ、と聞いておりましたが、実際やってみて、彼等のうまいのには、つくづくおどろきました。

やっぱり〝伝統の力〟というような、目に見えない重味があるものだと思いました。結局、熱戦の結果、①パンバン（インドネシア）②シディ（東外大）③木村（拓大四年）でした。賞品として三位までにトロフィを贈りました。

国際間の友情を深めるにはスポーツが最適。皆さん方に、少しでもこの集いの存在と意義を知っていただけたことを喜び、また来年も参加してもらえれば幸いだと思っております。

（拓殖大学インドネシア研究会・田崎誠）

編集部から——思いがけないところでバドミントンが役に立つもの。今後もよろしく。

体協から感謝状
日バのラケット寄贈に

前号既報のように、日本バドミントン協会は、加盟上部団体の日本体育協会に対し「レクリエーション話動をさかんにしてほしい」とバドミントン・ラケットを寄贈した。

これに対し同事務局では七月十三日、中島茂事務局が日バ事務局を訪れて、川端日バ理事長に〝感謝状〟を贈った。

感謝状

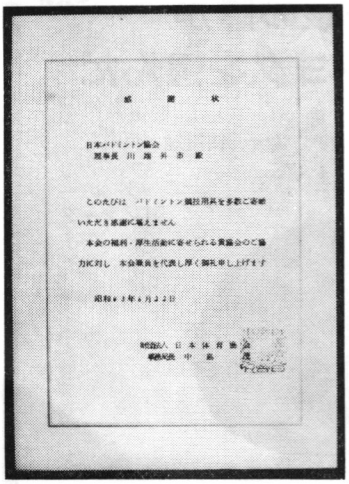
日本バドミントン協会
理事長　川端昇一殿

このたびは　バドミントン競技用具を多数ご寄贈いただき感謝に堪えません
本会の福利・厚生活動に寄せられる貴協会のご協力に対し　本会職員を代表し厚く御礼申し上げます

昭和四十五年六月二十二日
財団法人日本体育協会
事務局長　中島　茂

られる貴協会のご協力に対し、本会職員を代表して厚く御礼申し上げます。

昭和四十五年六月二十二日
財団法人日本体育協会
事務局長　中島　茂


感謝状

日本バドミントン協会
理事長　川端昇一殿

このたびは　バドミントン競技用具を多数ご寄贈いただき感謝に堪えません
本会の福利・厚生活動に寄せられる貴協会のご協力に対し　本会職員を代表し厚く御礼申し上げます

昭和45年6月22日

財団法人　日本体育協会
事務局長　中島　茂

◀写真は感謝状

北から南から

中島氏は本誌の理事長対談でもわかるように、いわゆる〝社会体育〟推進の中心的人物。かねがね「バドミントンは市民スポーツとして最もふさわしい」との意見をもっており、今日の日バの行為についても「加盟競技団体の中で、バドミントンほど協力的なところはない」と喜こんでいる。

日バでは次に、日本レクリエーション協会にもラケットを寄贈して、大いに普及してもらおうと考えている。

なお、カメラの旭光学では近くアマ・カメラマンによる〝バドミントンを撮影する会〟を計画しているとのこと。



写真集や〝連続写真〟は近く必ず出します

第9号「読者の広場」に投稿された〝写真集は出せないか〟という林さんの意見に賛成します。私も高校二年に在学中で、今、一番バドミントンに打ち込める時期ですが、ハイバックハンド等のフォームに悩まされています。私の高校のクラブ員も切に写真集が出版されるのを望んでいます。また大会の写真など実費でお分下されば幸いと思います。

（東京・台東区　湊しおん）

××　××　××

編集部から――結論から申し上げます。

① 写真集は近く出します。

② 連続写真なども必ずやります。

③ 写真はお分けいたしますということです。ただ、次の説明をご了解下さい。

【写真集について】ここで申し上げることは、すべて卒直な話ですが、本誌としては「お金もうけ（商売）で雑誌をやっているわけではないが、大きな赤字を出すことは許されない」立ち場です。なぜなら、財政の苦しい日本バドミントン協会から協力、ないしは援助を受けて本誌を発行しているからです。

そこで写真集をつくったがあまり売れなかった、とか予約を募集して、希望が少ない場合は止むを得ずやめる、ということもこまりますので、妥協案として本誌の何号か、あるいは別冊（臨時増刊）として、近いうちに刊行したい（この場合、代金は年間十二回分のうちに含まれます）と考えています。

【連続写真について】この種のものは優秀なアイモ改造機などがないと撮影できず、また費用もかさむのですが、最近、この問題が解決しそうなので、これも近いうちに必ず実行するつもりでおります。

【写真の一枚もの実費販売について】バドミントンは動きやシャトルのスピードが早い、コートが暗いなどのため、プロ・カメラマンでも撮影に苦労するものです。このため、協会にある写真もそう多くはありませんが、本誌を刊行いらい、少しづつ第一線選手の写真がたまってきました。

そこで在庫品の整理がつきしだい、ご要望にお答えしたいのですが、残念なことに〝見本〟をお見せするわけにいきません（協会にお出でになれる人は別です）そこで「××選手の××のフォーム」といわれても、注文に合うものがあるとは限らない点を心配しているのです。ただし、本誌に掲載されたものは別です。

おことわり

読者のみなさんから、自分たちの県の協会所在地を教えてとの要望が多いので、左ページに収録しました。



全国都道府県協会所在地一覧

【北海道】
札幌市南九条西20丁目 〒060—91
内田正博（理事長）気付
（自）同上 ☎0122—56—2559

【青森県】
弘前市下白銀町２ 東奥義塾高校
市川和司（事務局長）
（自） ☎01722—2—0758

【岩手県】
盛岡市大通り１丁目 ヤギハシレコード内 〒020 ☎0196—23—8857
佐々木隆夫（理事長）
（自） ☎0196—22—5069
盛岡市役所（勤）
☎0196—22—1171内317

【秋田県】
秋田市八幡字大道東１—７ 〒010
帝石石油㈱ 秋田鉱業所内
☎0188—62—4131
相馬清一（理事長）（勤）同上

【宮城県】
仙台市北一番丁25 植田美容院内
〒980 ☎0222—22—0384
竹田光雄（理事長）

【山形県】
山形市桜町２—31 〒990
金森義弘（事務担当）気付
（自）☎02362—2—7687

【福島県】
福島県大沼郡会津高田町字高田甲2977 〒969—62
布引修二（理事長）気付
（自）☎0242S4—3385

【茨城県】
水戸市五軒町３—２—61
大成女子高等学校内 〒310
☎0292—21—4888
篠塚芳江（事務担当）（勤）同上

【栃木県】
宇都宮市操町５—19宇都宮女子高
〒320 ☎0286—33—2315
宮川 昇（常務理事）（勤）同上

【群馬県】
桐生市広沢町３—4193 県立桐生南高校 ☎0277—44—1900
宮井正之（事務担当）（勤）同上

【埼玉県】
川口市上青木町２—2280
川口女高内五十嵐光政気付
☎0482—52—6910

【千葉県】
千葉市宮野木町321—33
高橋重夫（理事長）気付
（自）☎0472—52—0663

【東京都】
千代田区一番町７
玉手 庸（理事長）
（自）☎03—261—9431

【神奈川県】
横浜市中区万代町３—５—14
土方 充（事務担当）
（自）☎045—641—8540

【新潟県】
新潟市上所島 県立新潟南高校
☎0252—47—3331
大里俊一（事務担当）（勤）同上

【山梨県】
甲府市青沼３—５—44 〒400
甲府商業高校 ☎0552—33—7141
田村 博（理事長）（勤）同上

【長野県】
松本市丸の内３—７
松本市教育委員会内 〒390
☎02634—3—3000
上条 炳（事務担当）（勤）同上

【静岡県】
富士市上横割131—1 〒416
☎0545—61—4669
大箸昭司（副理事長）（自）同上

【愛知県】
名古屋市中村区平池町１—28
〒453 ☎052—541—7190
渡辺茂雄（理事長）（自）同上

【岐阜県】
岐阜市今沢町18 岐阜市教育委員会 〒500 ☎0582—65—4141
河田歳雄（公務員）（勤）同上

【富山県】
高岡市泉ヶ丘3300—331
☎0766—23—4844
内多小五郎（理事長）（自）同上

【福井県】
福井市淵町27—16—９ 〒910
小野田幸夫（副理事長）気付
（自）☎0776—23—2814

【石川県】
金沢市丸の内３—３ 石川県体育協会内 〒920 ☎0762—61—8128
新田正治（事務担当）
金沢本町１—２—25 〒920
（自）☎0762—31—3549

【三重県】
松阪市垣鼻町 県立松阪高校内
井口健正（事務担当） 〒515
（勤）☎05982—2—3511

【奈良県】
奈良市法華寺町 一条高校内
松尾良行（事務担当） 〒630
（勤）☎0742—33—7075・6

【和歌山県】
和歌山市湊1847 〒641
吉田健次郎（理事長）気付
（自）☎0734—55—1800

【兵庫県】
神戸市生田区中山手通２—75
神戸ＹＭＣＡ内
事務担当 児島 晋
（勤）神戸市東灘区住吉町牛神東1588 市立住吉中学校 〒658
（勤）☎078—85—3552・3

【京都府】
京都市中京区紙屋川通丸太町下ル
市村 修（理事長） 〒604
☎075—841—6018

【大阪府】
茨木市春日５—６—41 府立茨木工業高校内 青木昭二（事務担当）気付 〒567 ☎0726—23—1331

【滋賀県】
彦根市池洲町９番20号 県立彦根西高内 寺田 寿（理事長）気付
〒522 ☎07492—2—4890・91

【岡山県】
岡山市門田屋敷２—２—16
山陽学園内 〒700
毛利清志（理事長）気付

【鳥取県】
鳥取市湖山町2960—133 鳥取大学寮内 花川年男（事務担当）気付
〒680 ☎0857—28—1328

【広島県】
福山市元町６—７ 橋本スポーツ店内 橋本角市（理事長）
〒720 ☎0849—23—1795

【島根県】
松江市東朝日町 松江家政高校内
石原幸雄（理事長）気付
〒690 ☎0852—21—4195

【山口県】
下関市彦島江浦町江向 市立彦島中学校内 津守幸介（理事）気付
〒750 ☎0832—66—5266

【香川県】
高松市番町１—８—15 高松市役所内 野口利行（事務担当）気付
〒760 ☎0870—21—8111

【愛媛県】
松山市文京町３ 愛媛大学工学部内 新名静夫（総務委員長）気付
〒790 ☎0899—41—7111

【高知県】
高知市東久万183
山本邦彦（理事長）気付
〒780 ☎0888—72—9094

【徳島県】
小松島市日開野 小松島高校内
野村淳平（事務担当）気付
〒773 ☎08853—2—2166

【福岡県】
福岡市天神１—８—１
福岡市役所総務課内
辰市祐昭（事務担当）気付
〒810 ☎092—87—2131

【大分県】
大分市中央町４—１—23
川島一郎（理事長）気付 〒850
（自）☎09752—2—8668

【佐賀県】
佐賀県多久市北多久町 多久市役所内 古賀正義（事務担当）気付
〒846 ☎09527—5—2111

【長崎県】
長崎市鳴滝町176
片平直照（事務局長）気付 〒852
（自）☎0958—23—0474

【熊本県】
熊本市小幡町37 〒860
伊藤基記（理事長）気付
（自）☎0963—53—3642

【宮崎県】
宮崎市橘通１—１—１ 宮崎市役所内 松本行弘（事務担当）気付
〒880 ☎0985—3—3171

【鹿児島県】
鹿児島市鴨池町201 鹿児島大学教養学部体育研究室内
丸山嘉久（理事長）気付
〒890 ☎09922—4—7141

【沖縄】
那覇市松下町１—85 那覇商業高内 井上 赳（事務局長）気付
☎沖縄 8—3657

シャトルの無償交付は廃止

七月総会の議案まとまる　分担金、登録料も値上げへ

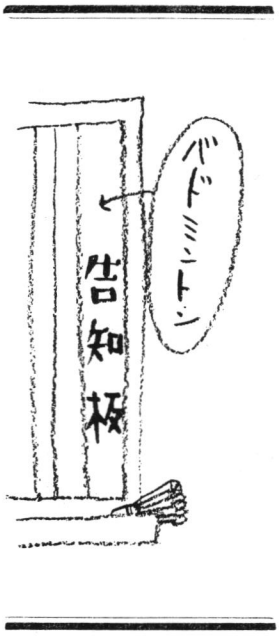
日本協会は七月五日の拡大常務理事会で、十九日に東京・神田の山の上ホテルで開かれる全国総会のため議案を審議した。

問題となっているシャトルの無償交付については、業界の生産量低下により、これまで実施している無償交付は継続がむずかしくなったため、廃止する方針を決めた。

また各県などの分担金、会費（登録料）の値上げについても、このさい止むを得ないということになった。

しかし、これらの二点については、なんらかの見返りや代案を、あわせて考えるべきであるとの点でも意見が一致した。

アジア大会（十二月バンコク）の代表は、九月に選考会を開いて決めることにした。



主な議案と結論はつぎのとおり。

①宮田氏が日本協会副会長に就任　全国高体連会長に新任された宮田豊太郎氏（都立駒場高校長）が、日本バドミントン協会の規定により、日本協会副会長になった。

②近畿代表ブロック理事補充　岩井前理事死去のため、後任理事選出が七月十二日行なわれる。決定しだい承任。

③ア大会の際にインドネシアへ遠征か　目下、インドネシアと連絡中で具体的なことは決まっていないが、話し合いがつけば、アジア大会参加のおりに、ジャカルタへ遠征したい。復案としては男女ともで、この対戦は次期ユ杯、ト杯戦への強化の一環として有効である。

④アジア大会代表選考会　代表は選考会で決定したい。競技力向上委の内案は次のとおり。

▼期日＝九月14・15日、東京台東体育館▼参加資格＝44年度の全日本実業団、全日本学生、全国高校、全日本教職員、全日本総合、および45年度全日本社会人の各大会でシングルス、ダブルス各8位までの選手の中から、競技力向上委が推薦したもの▼要項詳細は総会で発表

⑤表彰規定細則の改正（略）

⑥シャトルの無償交付廃止　これまで日本協会では、シャトル製造各メーカーの協力を得て各地方協会に対し、シャトルを少数ながら無代で交付していた。しかし、近年、原毛（水鳥）の不足により、各社の生産量はかなり低下しており、これ以上、協力を続けることがむずかしい状態である。

このため、この制度を廃止することに決めた。大方の意見は「得むを得ないが、これに代わる案を今後、検討してほしい」ということであった。

⑦分担金と会費（登録料）の値上げ問題　日本協会の財政バランスなどから、値上げに踏み切りたい。日本協会の上部団体である体協（日本体育協会）からの補助金が今年度から減り（体協へ入ってくるギャンブルなどからの補助金自体の減額）しかも、日本協会から体協へおさめるお金（たとえば、加盟費が五万円から倍額の十万円になるなど）がふえている。

一方、日本協会の活動事業の拡大により、人件費、会議費、事務関係費などは激増の一歩をたどっている。

こうした事情から、財政の一部を補うには、地方協会の分担金、会員登録料を値上げするのも止むを得ない。

ふりかえってみれば、登録料は三十三年、分担金は三十八年から、すえ置きのままである。

という意見となり、分担金は八千円を一万五千円に、登録料は一般百円を二百円、高校生は検討の余地はあるが、一応五十円を七十円にしたい。また来年度からは全国中学選抜大会（ジュニア）が実施される予定であり、中学生の登録も出てくると思われるので、中学は五十円とする。

⑧功労賞基準の改正（略、第5号議案と合わせて検討。

⑨大会の年齢別種目の区分け改正　年齢別を①三十歳～四十四歳②四十五歳～五十九歳③六十歳以上――としてはどうかとの案が出された。

スポーツは一生のものであり六十をすぎても楽しんでいる人が多い。かって、競技界の一線で活躍したベテランたちにも、全国的大会でふたたびラケットを振ってもらうことは、立会体育の振興上も有益であり、普及にも役に立つ――という考え方から出たもの。

しかし、結論としては、現在ある規定を変えなくても、大会ごとに配慮すれば充分やれるということになった。

⑩大会運営規定の補正（略、競技委員最で検討中なので、その案も参考にして考える）

⑪旅費規定の改正（略、財政事情を勘案し、総務委員会で検討する）

⑫日韓高校大会派遣役員　監督は全国高校総体の優勝チーム監督が自動的に決まる。協会から派遣する役員（一人）は森友副会長、川端理事長、および副理事長に決定を一任する。

ア大会の代表選考は九月

一級審判審査案が内定

日本協会審判委員会では、一級審判の昇任試験について、具体的な方法を研究していたが、このほど小委員会で結論を得たので、七月の全体委員会にかけ審議することに決めた。

一級審判は、日本協会主催の年次大会や地区大会、都道府県大会等で審判長、副審判長として、競技を統卒する立ち場にあるので、①バドミントン全般に精通していること ②世界的視野に立って競技と競技会を考えることができること ③審判員を統卒し、トラブル発生等にさいしては、正しい指導力を発揮できること――など豊かで副広い知識と人間性の持ち主であることが望まれる。

このため、小委員会では、①論文②設問――の両形式にわたって、給討した結果、一つの問題に対し深い洞察力を発揮、長い時間をかけて研究でき、しかも、テーマを自分で選べる〝長所〟をとり「論文」を試験問題として、採用する方針を決定した。

具体的には①主題は委員会で統一テーマを決めるか、各自が設定する ②四百字詰原稿用紙五～十枚ていどにまとめ審査期日の二ケ月前までに提出する ③論文を審査の上、年二回、審判委のさい面接か論文発表会を行なってから合否を決める。

▼▼▼▼異　動▲▲▲▲

★**埼玉県協会**事務担当連絡さき変更↓新しい連絡さきは埼玉県川口市上青木町2の2280川口女子高内、五十里光秋氏気付（電）0492・52局6910

★**京都府協会**理事長の変更

十九年の間、理事長として京都のバドミントン発展に尽力した上原正士氏（日本協会常務理事）は、このほどの役員改選で副会長に就任、新理事長には市村修氏が決まった。

市村理事長（および協会連絡さき）住所は次のとおり。

京都市中京区紙屋川通丸太町下ル、市村修氏方（電）075・841局6018、〒604

愛読者へ日本協会のお願い

〝テレビ教室〟を録音した方がいらっしゃいませんか

どなたか、五月三日（日）午前九時より、NHK教育TVで放映されました。バドミントン教室の解説者の声を録音して、お持ちの方は、いらっしゃいませんか。

この教室は、堺栄一、小島一平、西野一征、本間順次、天野博江、小片千美子、竹中悦子、相沢マチ子の一流選手を集め前日本トマスカップチーム監督内藤安雄常務理事が、高校上級生のため、指導と解説をしたものです。

わたくしたちは、この貴重な指導資料を、16ミリ・フイルムにしましたが、技術上の手違いにより、音を入れることが出来ませんでした。

この教室を録音した方がいらっしゃいましたら、テープを貸していただけませんか。

（日本協会事務局長・村山幸雄）



早わかり競技規則

ルール100問？

連載 ⑩

日本教職員連盟
審判部監修

〝セット〟という用語はない

7・スコアリング（続）

（規則第7～9条）

問50 「セット」という単位はないんですか。よく聞くんですけど。

答 ありません。「点」の重なりが「ゲーム」で、3ゲーム中2ゲーム先取で「試合」がきまるのです。

点はポイント（POINT）、試合はマッチ（MATCH）です。それから、対抗は、英語では、タイ（TIE）といわれます。「セット」という語はどこにも出て来ません。

硬式テニスでは「ポイント」が重なって「ゲーム」になり、「ゲーム」が重なって「セット」、「セット」が重なって「マッチ」となりますが、バドミントンでは、硬式テニスの「セット」が「マッチ」に当ります。

しかし、バレーボールや卓球では、バドミントンの「ゲーム」に当るところを「セット」と呼びます。これがバドミントンで「セット」という言葉を誤って用いる原因かも知れませんね。

バドミントンには「セット」というスコアリングはないのですから、「セット・オール」とか「ファイナル・セット」という言葉もありません。「ゲーム・オール」とか「ファイナル・ゲーム」と呼んで下さい。

問51 「ゲーム・オール」とか「ファイナル・ゲーム」とはどんなことですか。

答 ゲーム・カウントに関する言葉です。

第1ゲームでAが勝ち、第2ゲームでその対手のBが勝った場合「ゲーム・オール」といいます。この場合は第3ゲームで勝敗がきまるわけです。それで第3ゲームは試合の最後のゲームになりますから「ファイナル・ゲーム」とも呼びます。

ファイナル（FINAL）の意味はわかりますね。そして、3ゲームとも全部やるのですから、フル・ゲーム（FULL GAME）の試合をしたといいます。

反対に、第1ゲームも第2ゲームも同じサイドが取れば、第3ゲームはやらないで、ゲーム・カウント2―0で打ち切ります。この場合には「ストレート」で勝ったとか、負けたとかいいます。

問52 バドミントンには「ジュース」はないんですか。

答 ありません。バドミントンの「セッティング」は次の通りです。

ゲームに勝つために必要な点数の1点から2点前で同点になったとき、あと2点か、3点か、5点のゲームに「セット」します。

11点ゲームの場合は、9オールか10オールで、それぞれあと3点か2点に「セット」し、15点ゲームの場合には13オールか14オールで、それぞれあと5点か3点に「セット」します。

「ジュース」も「セッティング」の一種ですが、これは点数の差が「2」になったとき勝負がきまる。つまり、一方が連続2点とるまでやるという方法で、テニスや卓球などがそうですね。

ゲーム	同点点数	事後の点数	通算点数
11点	9オール	3点	12点
	10オール	2点	12点
15点	13オール	5点	18点
	14オール	3点	17点

問53 「セッティング」をしないこともあるようですが、審判員がきめるのですか。

答 いいえ。その同点の点に先きになっていたサイドに「セッティング」するかしないかを決める権利があります。黙っていれば、セッティングしないことになりますから、セッティングするかしないかを決める権利があるのは、その同点の点数をさきに取っていたサイドだと申しましたね。例えば、13オールの場合、先きに13点に達していたサイドにセッティングの選択権があるのです。ところで、このサイドは、その13オールの際には、必ずサービスを受ける方の側、つまりアウトサイドに当ります。これは順を追ってよく考えればわかることと思いますから、一度検討してみし下さい。

問54 もし14オールでセッティングすると、あと3点ですね。この場合2オールになったらまたセッティングするんですか。

答 いいえ、セッティングは1ゲームに2回はないのです。14オールでセッティングすればあと3点先取でゲームの勝負が決定します。通算17点ゲームですね。

全部の場合をひとまとめにしたのが別表です。

公　　告

日本バドミントン協会では総会の決定に基き、昭和45年度の協会検定、審査合格および協会推奨の用具を、本欄のように決めましたので、ここにお知らせします。

昭和45年４月１日

日本バドミントン協会

昭和45年度日本バドミントン協会審査合格用具推奨用具

ラケットの部	銘柄名	会社名	摘要	ウェアーの部	銘柄名	会社名	摘要
	ラッキーセブン張上（#7）	株式会社ヨネヤマラケット			(男子)#106ショートパンツ	株式会社ヨネヤマラケット	
	スリーエート張上（№8）	〃			(男子)#107シャツ	〃	
	クインハートフレーム（#1,000）	〃			(男子)#105ショートパンツ	〃	
	カレッヂエイトフレーム（#3,000）	〃			(男子)#108シャツ	〃	
	カレッヂエイトデラックスフレーム（#4,000）	〃			(女子)#203ミニスカート	〃	
	ファイブエースフレーム（#5,000）	〃			(女子)#204シャツ	〃	
	ファイブエースデラックスフレーム（#6,000）	〃			(女子)#202ミニスカート	〃	
	レディエースフレーム（#6,500）	〃			(女子)#205シャツ	〃	
	アルミナエースフレーム（#7,000）	〃			(女子)#200スカート	〃	
	アルミナエースデラックスフレーム（#8,000）	〃			(男子)#104ショートパンツ	〃	
	キングダイア（#2,000）	〃			(男子)#109シャツ	〃	
	コールドキング	株式会社諸江製作所			(女子)#206シャツ白	〃	
	ダンロップ	〃			(男子)№500 リースバドミントンシャツ	河崎ラケット工業株式会社	
	キングクリッパー	〃			(男子)№533 リースバドミントンショートパンツ	〃	
	キングメイト	〃			(女子)№500 リースバドミントンシャツ	〃	
	シルバーデラックス	〃			(女子)№592 リースバドミントンスカート	〃	
	ハイ・スピード（№2）	大阪合繊株式会社			チャンピオンバドミントンシューズ	〃	
	ハイ・トーマス（№3）	〃		シューズの部	バドミントンシューズ	株式会社ヨネヤマラケット	
	フィアレス（№10）	〃			アタックシューズ	株式会社諸江製作所	
	フェニックス・インペリアル（№30）	〃			アタックデラックス	〃	
	エクセレント（T-1）	〃					
	ブルーリース（№B-6P）	河崎ラケット工業株式会社					
	エバーウィン（№206）	〃					
	カアルトンオールスチールラケットスリーポイントセブン	日本カアルトン株式会社					
	№8 ウィンナー	株式会社トヨダスポーツ					
	№1,000 ニューミニ	〃					
	№3,000 ブルー	〃					
	№4,000 アルバート	〃					
	№5,000 ニューアルバート	〃					

◇全国高校総体各都道府県予選個人戦の部

【長野県】

■男子シングルス▼準決勝　丸山(伊那北)2―0小林(長野)、名川(須坂)2―0有賀(岡谷南)▼決勝　丸山2―0名川

■男子ダブルス▼準決勝　丸山・山本(伊那北)2―0西野入・石川(更級農)、小林・福沢(伊那北)2―0名川・荻原(須坂)▼決勝　丸山・山本2―0小林・福沢

■女子シングルス▼準決勝　高橋(二葉)2―0篠原(二葉)、矢崎(二葉)2―0松崎(弥生)▼決勝　矢崎2―1高橋

■女子ダブルス▼準決勝　篠原・北沢(二葉)2―1松崎・内田(弥生)、矢崎・高橋(二葉)2―0小笠原・小松(蟻ヶ崎)▼決勝　矢崎・高橋2―0篠原・北沢

【鹿児島県】

■男子シングルス▼準決勝　水口(商)2―0伊知地(商)、原口(鹿)2―0迫(川)▼決勝　水口2―0原口

■男子ダブルス▼準決勝　原口・吉村(鹿)2―0伊地知・山科(商)、西園・瀬戸口(川商)2―0田児・岸本(鹿)▼決勝　原口・吉村2―0西園・瀬戸口

■女子シングルス▼準決勝　山本(串)2―0中島(川)、中原(串)2―0川窪(吹)▼決勝　中原2―0山本

■女子ダブルス▼準決勝　中原・山本(串)2―0中島・浜崎(川)、川窪・坂上(吹)2―1野元・南浜(川商)▼決勝　中原・山本2―1川窪・坂上

【岐阜県】

■男子シングルス▼準決勝　渡辺(岐東)2―0井川(岐東)、脇田(岐東)2―0竹市(岐東)▼決勝　脇田2―0渡辺

■男子ダブルス▼準決勝　脇田・井川(岐東)2―0山田・後藤(岐工)、渡辺・竹市(岐東)2―0河合・安田(岐商)▼決勝　脇田・井川2―0渡辺・竹市

■女子シングルス▼準決勝　尾藤(富田)2―0日比野(富田)、森田(富田)2―0富田(富田)▼決勝　尾藤2―1森田

■女子ダブルス▼準決勝　尾藤・富田(富田)2―1臼井・本田(大農)、森田・日比野(富田)2―0板津・川島(岐商)▼決勝　森田・日比野2―0尾藤・富田

【秋田県】

■男子シングルス▼準決勝　藤原(秋市)2―0長谷川(経付)、佐藤(経付)2―0水沢(秋工)▼決勝　藤原2―0佐藤

■男子ダブルス▼準決勝　阿久津・水沢(秋工)2―0池田・佐藤(経付)、佐藤・中川(経付)2―0藤原・大宮(秋市)▼決勝　佐藤・中川2―0阿久津・水沢

■女子シングルス▼準決勝　高橋(敬愛)2―0高橋(二ツ井)、阿部(羽後)2―0柴田(敬愛)▼決勝　高橋2―0阿部

■女子ダブルス▼準決勝　柴田・高橋(敬愛)2―0佐々木・高橋(羽後)、阿部・佐藤(羽後)2―0鎌田・佐藤(秋市)▼決勝　阿部・佐藤2―0柴田・高橋

【香川県】

■男子シングルス▼準決勝　日下(高一)2―0辻本(坂工)、与田(高商)2―0横田(善一)▼決勝　日下2―0与田

■男子ダブルス▼準決勝　日下・曽根(高一)2―1辻本・小泉(坂工)、横田・福崎(善一)2―1与田・高島(高商)▼決勝　与田・高島2―1辻本・小泉

■女子シングルス▼準決勝　大坪(善一)2―0田所(善一)、森(善一)2―0川東(善一)▼決勝　森2―0大坪

■女子ダブルス▼準決勝　川東・森(善一)2―0木戸・大西(善一)、田所・造田(善一)2―0宮崎・沢井(高一)▼決勝　川東・森2―0田所・造田

【滋賀県】

■男子シングルス▼準決勝　浅井(彦工)2―0高木(長商工)、伊東(石山)2―0佐竹(長北)▼決勝　伊東2―0浅井

■男子ダブルス▼準決勝　堤・松居(彦工)2―0三上・山下(高島)、南・西(能登川)2―0洞・川端(大津)▼決勝　堤・松居2―1南・西

■女子シングルス▼準決勝　田付(彦西)2―0田中(大津)、山脇(彦西)2―0木俣(能登川)▼決勝　田付2―0山脇

■女子ダブルス▼準決勝　田付・西堀(彦西)2―0田中・吉岡(愛知)、長谷川・山脇(彦西)2―0木俣・新海(能登川)▼決勝　長谷川・山脇2―0田付・西堀

【福島県】

■男子シングルス▼準決勝　青木(会工)(不明)穴沢(若商)、和田(若商)(不明)玉川(会)▼決勝　和田2―0青木

■男子ダブルス▼準決勝　青木・渡部(会工)(不明)管野・角田(福商)、大内・吉成(安商)(不明)穴沢・星(若商)▼決勝　青木・渡部2―0大内・吉成

■女子シングルス▼準決勝　助川(平商)(不明)作山(平商)、伏見(平商)(不明)千葉(平商)▼決勝　助川(不明)伏見

■女子ダブルス▼準決勝　伏見・助川(平商)(不明)鈴木・佐々木(西女)、作山・千葉(平商)(不明)宮内・加藤(平商)▼決勝　伏見・助川2―0作山・千葉

【鳥取県】

■男子シングルス▼準決勝　柏木(境工)2―0田上(境工)、佐伯(倉東)2―0高崎(境工)▼決勝　柏木2―0佐伯

■男子ダブルス▼準決勝　柏木・高崎(境工)2―0佐伯・栗原(倉東)、杉谷・針本(倉工)2―1田上・樋野(境工)▼決勝　杉谷・針本2―1柏木・高崎

■女子シングルス▼準決勝　前田(倉西)2―1山本(倉西)、小林(鳥西)2―0山岡(倉西)▼決勝　小林2―0前田

■女子ダブルス▼準決勝　山岡・前田(倉西)2―0坂口・山本(鳥東)、陶山・福楽(倉西)▼決勝　陶山・福楽2―1山岡・前田

【岩手県】

■男子シングルス▼準決勝　豊

田（黒北）2―0高橋（専北）、佐藤（黒北）2―1佐藤（岩谷堂）▼決勝　高橋2―0佐藤

■男子ダブルス▼準決勝　佐藤・菊地（岩谷堂）2―0佐藤・豊田（黒北）、高橋・阿部（専北）2―0宇夫方・鈴木（盛四）

▼決勝　佐藤・菊地2―0高橋・阿部

■女子シングルス▼準決勝　千葉（前沢）2―0渋佐（大槌）、白石（千厩）2―1小野寺（盛市）▼決勝　白石2―1千葉

■女子ダブルス▼準決勝　洞口・伊藤（釜南）2―0渋佐・坂本（大槌）、阿部・城沢（黒南）2―0小野寺・斉藤（盛市）

▼決勝　洞口・伊藤2―1阿部・城沢

【大阪府】

■男子シングルス▼準決勝　酒井（茨工）2―0塩見（布工）、瀬良（布工）2―0木島（港）

▼決勝　酒井2―1瀬良

■男子ダブルス▼準決勝　木島・荻原（港）2―1酒井・瀬（茨工）、辻本・山口（佐工）2―1佐久間・浜本（生）▼決勝　木島・荻原2―0辻本・山口

■女子シングルス▼準決勝　西尾（四学）2―1秋本幸（四学）、秋本八（四学）2―0佐古（四学）▼決勝　秋本2―0西尾

■女子ダブルス▼準決勝　秋本八・西尾（四学）2―0水島・村瀬（樟）、佐古・秋本幸（四学）2―0福元・竹村（樟）

▼決勝　秋本八・西尾2―0佐古・秋本幸

【島根県】

■男子シングルス▼準決勝　南木（松北）2―0平井（松北）、中村（松商）2―0立脇（松南）

▼決勝　中村2―1南木

■男子ダブルス▼準決勝　南木・吉岡（松北）2―0武藤・佐田（島商）、犬山・犬山（松商）2―1中村・山陰（松商）▼決勝　南木・吉岡2―0犬山・犬山

■女子シングルス▼準決勝　内田（松家）2―0寺本（松商）、原（松家）2―0河口（松家）

▼決勝　内田2―0原

■女子ダブルス▼準決勝　内田・原（松家）2―0井上・橋本（松商）、河口・国富（松家）2―0竹内・寺本（松商）▼決勝　内田・原2―0河口・国富

【石川県】

■男子シングルス▼準決勝　銭谷（大聖寺）2―0青山（金市工）竹村（金市工）2―0山田（金市工）▼決勝　銭谷2―1竹村

■男子ダブルス▼準決勝　青山・竹村（金市工）2―0牧野・音（県工）、山田・米田（金市工）2―0銭谷・上木（大聖寺）▼決勝　青山・竹村2―1山田・米田

■女子シングルス▼準決勝　三浦（津）2―0松田（二）、角谷（聖）2―1森田（津幡）

▼決勝　三浦2―1角谷

■女子ダブルス▼準決勝　森田・三浦（津）2―1沖野・架谷（藤）、松田・石田（二）2―1猪谷・荒井（津）▼決勝　森田・三浦2―0松田・石田

【新潟県】

■男子シングルス▼準決勝　竹野（新潟商）2―0雪井（新発田商工）、飯野（三条商）2―1山田（新潟商）▼決勝　飯野2―0竹野

■男子ダブルス▼準決勝　山田・竹野（新潟商）2―0坂井・飯野（三条商）、堀口・土田（三条商）2―0林・吉井（新潟商）

▼決勝　山田・竹野2―0堀田・土田

■女子シングルス▼準決勝　高橋（新潟青陵）2―1高橋（三条東）、宮本（新潟青陵）2―0湯浅（新発田商工）▼決勝　高橋2―1宮本

■女子ダブルス▼準決勝　高橋・宮本（新潟青陵）2―0板垣・海老名（三条東）、野島・高橋（三条東）2―0柳谷・中山（新潟中央）▼決勝　高橋・宮本2―0野島・高橋

【三重県】

■男子シングルス▼準決勝　井崎（伊工）2―0槇野（山商）、小林（伊工）2―1河瀬（山商）

▼決勝　小林2―0井崎

■男子ダブルス▼準決勝　小林・井崎（伊工）2―0伊奈・安良城（四工）、福村・服部（伊工）2―1奥山・黒川（亀山）▼決勝　小林・井崎2―0福村・服部

■女子シングルス▼準決勝　東佐智（長島）2―0亀谷（松）、林（山）2―1太田（長島）

▼決勝　東佐智2―0林

■女子ダブルス▼準決勝　林・瀬尾（山）2―0太田・東純（長島）、東佐智・大西（長島）2―1出口・宮本（山）▼決勝　東佐智・大西2―1林・瀬尾

【岡山県】

■男子シングルス▼準決勝　松井（備南）（不明）田村（備南）、重安（倉工）（不明）藤原（備南）▼決勝　重安（不明）松井・川相（倉工）（不明）小田・服部（西大寺）、田村・松井（備南）（不明）久保・藤原（備南）▼決勝　重安・川相2―1田村・松井

■女子シングルス▼準決勝　剛迫（山陽）2―1吉田（山陽）、石田（山陽）2―0林（山陽）▼決勝　石田2―0剛迫

■女子ダブルス▼準決勝　吉田・石田（山陽）2―0田辺・三宅（山陽）、剛迫・林（山陽）2―0藤原・山本（青陵）▼決勝　吉田・能田2―0剛迫・林

【埼玉県】

■男子シングルス▼準決勝　能登（浦西）2―0松本（小）、石沢（大西）2―0山崎（浦西）

▼決勝　能登2―0石沢

■男子ダブルス▼準決勝　能登・山崎（浦西）2―0鈴木・伊藤（大西）、石沢・鶴田（大西）2―1松本・田中（小）▼決勝　能登・山崎2―0佐沢・鶴田

■女子シングルス▼準決勝　中村（川口）2―1石藤（川口）、大河内（川口）2―1宮沢（熊谷）▼決勝　中村2―0大河内

■女子ダブルス▼準決勝　大河内・中村（川口）2―0松沢・上原（浦南）、宮沢・小林（熊谷）2―1佐藤・土佐林（川口）

▼決勝　大河内・中村2―0宮沢・小林

【青森県】

■男子シングルス▼準決勝　伊藤（青工）2―1木村（弘実）、斉藤（東義）2―0林田（弘）

▼決勝　斉藤2―0伊藤

■男子ダブルス▼準決勝　小林・阿部（青商）2―0木村・浅

利（弘実）、斉藤・佐藤（東義）2―1北畠・後藤（青商）▼決勝　斉藤・佐藤2―0小林・阿部

■女子シングルス▼準決勝　外崎（聖愛）2―1奥谷（浪岡）、平井（浪岡）2―0佐々木（木造）▼決勝　外崎2―0平井

■女子ダブルス▼準決勝　外崎・斉藤（聖愛）2―0福士・加藤（浪岡）、平井・奥谷（浪岡）2―1神・佐々木（木造）▼決勝　外崎・斉藤2―0平井・奥谷

【愛知県】

■男子シングルス▼準決勝　菱田（名電工）2―0阿部（名電工）、加藤（名電工）2―0中村（名電工）▼決勝　加藤（不明）菱田

■男子ダブルス▼準決勝　加藤・菱田（名電）2―1佐々木・香田（時）、中村・阿部（名電）2―1山田・清谷（原）▼決勝　加藤・菱田2―0中村・阿部

■女子シングルス▼準決勝　鈴木（高蔵）2―0山田（名女商）、堀（高蔵）2―1大塚（名女商）▼決勝　堀2―0鈴木

■女子ダブルス▼準決勝　堀・鈴木（高蔵）（不明）成瀬・石居（豊田東）、大塚・山田（名女商）2―0鈴木・岡田（豊田東）▼決勝　堀・鈴木2―1大塚・山田

【沖　縄】

■男子シングルス▼決勝　崎原（那覇商）2―1宮城（那覇商）

■男子ダブルス▼決勝　崎原・宮城（那覇商）2―0宣志富・根間（不明）

■女子シングルス▼決勝　下地（那覇商）2―0大城（那覇商）

■女子ダブルス▼決勝　下地・大城（那覇商）2―0与那嶺（不明）

【北海道】

■道北男子シングルス▼決勝　大路（帯三条）2―1蛸井（帯農）■道南男子シングルス▼決勝　山口（札工）2―1中川（江別）▼全道決勝　山口2―0大路

■道北男子ダブルス▼決勝　下野・蛸井（帯農）2―0井上・福島（帯農）■道南男子ダブルス▼決勝　山口・藤木（札工）2―0旁川・佐藤（美唄東）▼全道決勝　山口・藤木2―0下野・蛸井

■道北女子シングルス▼決勝　小山田（帯大谷）2―1小松（帯南商）■道南女子シングルス▼決勝　今川（礼静修）2―0菅（礼北斗）▼全道決勝　今川2―0小山田・斉藤（留萌）2―1大内・佐々木（釧星園）■道南女子ダブルス▼決勝　今川・石田（札静修）2―0菅野・有田（札北斗）▼全道決勝　山田・斉藤2―1今川・石田

【愛媛県】

■男子ダブルス▼準決勝　浜中・門屋（松東）（不明）吉岡・岡田（松商）、越智・矢野（今北）（不明）井上・本田（松東）▼決勝　越智・矢野2―1浜中・門屋

■女子ダブルス▼準決勝　今嶋・田鍋（今北）（不明）乗松・森（松南）、十亀・高橋（今北）（不明）戸田・沼（松商）▼決勝　今嶋・田鍋2―1十亀・高橋

☒東海高校総合体育大会

【男子団体】▼一回戦　名電工（愛知）5―0岐阜工（岐阜）、伊勢工（三重）3―2沼津東（静岡）、岐阜東（岐阜）4―1宇治山田商（三重）、吉原工（静岡）3―2東海（愛知）

▼準決勝　名電工3―0伊勢工、岐阜東3―0吉原工

▼決勝　名電工3―0岐阜東

○加藤田 2(15―6)0 脇田 菱
○中部 2(15―2)0 渡辺 阿
○加藤 2(15―7)0 脇田

【女子団体】▼一回戦　大垣農（岐阜）3―2名女商（愛知）、富田女（岐阜）3―2長島（三重）、吉原（静岡）3―2高蔵女商（愛知）

▼準決勝　宇治山田3―2大垣農、吉原3―1富田女

▼決勝　吉原3―1宇治山田

○鈴木屋 0(3―6)(15―15)2 林尾 土
○平野 2(15―2)0 出口 仁藤
○鈴木 2(11―11)0 瀬尾
○平野 2(11―11)0 林

☒全国高校総体三重県予選

【男子団体】▼準々決勝　伊勢工3―0星学館、亀山3―0員弁、四日市工3―0四日市商、山田商3―0津工

▼準決勝　伊勢工3―1亀山

山田商（不明）四日市工

▼決勝　伊勢工3―0山田商

○小林崎 2(15―12)0 槇野 井
○服部村 2(15―12)0 河瀬 福
○井崎 2(15―12)0 槇野 森下 沖林

【女子団体】▼準々決勝　長島3―0四日市商、山田商3―0相可、亀山3―0員弁、山田3―0松阪女▼準決勝　長島3―0山田商、山田3―1亀山

▼決勝　山田3―2長島

○林尾 2(15―7)10 太田 瀬
○出口宮本 0(11―15)2 東（佐）大 西○
○瀬尾 2(11―9)10 太田 出
○林 2(11―9)9 大西

☒全国高校総体福岡予選

【男子団体】▼一回戦　明善3―0第一商、小倉商3―0城南、明善定時3―0第一、大牟田北3―0小倉西▼準決勝　明善3―0小倉商、大牟田北3―2明善定時

▼決勝　明善3―2大牟田北

○吉富 2(15―6)0 田島 吉
○中山 0(17―18)2 池田 田
○田中山 1(4―15)(9―15)2 金坂 中池○

【女子団体】▼準々決勝　門司商3―0室見丘、信愛3―2小倉商、明善3―0門司北、九州女3―1小倉西▼準決勝　門司商3―0信愛、明善3―1九州女

▼決勝　明善3―1門司商

○大庭福田 2(18―17)0 安藤 福岡

宮原 8—15 2 重盛
今村 0—2 梁瀬
5—11
○大庭 2—11 2 1 花岡
1111—1 3 1
○福田 2—4 0 安藤
1111—6

◇全北海道実業団兼社会人選手権大会（4月25、26日・札幌市体育館）

【男子団体】▼一部リーグ 札鉄A3—0電々札幌、電々札幌3—2札鉄B、札鉄A3—0札鉄B、地崎商事3—1札鉄B、地崎商事3—1札鉄A、地崎商事3—1電々札幌

▼順位 ①地崎商事3勝②札鉄A2勝1敗③電々札幌1勝2敗④札鉄B3敗

▼二部準決勝 釧路市役所3—0国策パルプ、小樽築港機関区3—0苫小牧市役所 **▼決勝** 小樽3—2釧路

【女子団体】▼一部準決勝 地崎商事2—0札幌トヨペット、サンスポーツ（不戦）朝日新聞

▼決勝 地崎2—0サンスポ

▼二部準決勝 栖崎産業2—1小樽西条木材、トヨタオート北札幌2—0オート百花 **▼決勝** トヨタ2—0栖崎

【男子個人戦】▼一部シングルス準決勝 土江田（地崎）2—0山田好（札鉄）、中村兄（地崎）2—0中村弟（電々）**▼決勝** 中村兄2（15—5、15—3）0土江田

▼一部ダブルス準決勝 岩崎・中村（地崎）2—0伊藤・渋井（札鉄）、中村・木村（電々）2—1阿部・宮崎（教大）**▼決勝** 中村・木村2（15—1、15—8）0岩崎・中村

▼二部シングルス決勝 藤井（釧路市役所）2—1村井（国鉄室蘭）

▼二部ダブルス決勝 小向・寺尾（室蘭）2—0村井・斉藤（国鉄室蘭）

▼三部シングルス決勝 貝塚（釧路市役所）2—0高橋（国鉄室蘭）

▼三部ダブルス決勝 寺尾・高橋（室蘭）2—0橋本・宮田（釧路市役所）

【女子個人戦】▼一部シングルス準決勝 渡辺（地崎商事）2—1清水（地崎商事）、高野（地崎商事）2—0斉藤（札トヨタ）**▼決勝** 渡辺2（11—3、12—11）0高野

▼一部ダブルス・リーグ 清水・高野（地崎商事）2—0渡辺・岡本（地崎商事・サンスポーツ）、谷浦・松田（サンスポーツ）2—1渡辺・岡本、谷浦・松田2—1清水・高野

▼二部シングルス決勝 藤島（函大妻）2—0佐々木（道相互銀行）

▼二部ダブルス決勝 田中・川端（田中建説・トヨタ北札）2—1新野・治部（オート百花）

【セミベテラン】▼シングルス決勝 渋井（札鉄）2—0笹森（札幌）**▼ダブルス決勝** 渋井・五十嵐（札幌）2—1小向・平沢（室蘭・札幌）

【ベテラン】▼シングルス決勝 荒島（道新）2—1奈良岡（北大）**▼ダブルス・リーグ** 宮永・若林（札ク）2—0西野・奈良岡（北大ク）、西野・奈良岡2—1荒島・大塚（札ク）、若林・宮永2—1荒島・大塚

◇鳥取県春季総合選手権（5月17日・米子市体育館）

■男子シングルス ▼準決勝 倉田（鳥大）2—0向井（倉羽ク）、柏木（境工）2—1（鳥教）**▼決勝** 倉田2（15—7、15—0）0柏木

■男子ダブルス ▼準決勝 倉田・白根（鳥大）2—0古川・加藤（鳥ク）、小松・尾崎（鳥ク）2—0向井・山崎（倉ク）**▼決勝** 倉田・白根2（15—5、15—0）0小松・尾崎

■女子シングルス ▼準決勝 小林（鳥西高）2—1前田（鳥高）、三島（鳥ク）2—0高地（鳥ク）**▼決勝** 小林2（13—9、11—6）0三島

■女子ダブルス ▼準決勝 三島・高地（鳥ク）2—0中島・千原（境高）、山岡・前田（倉西高）2—1福楽・陶山（倉西）**▼決勝** 三島・高地2（15—8、15—7）0山岡・前田

■壮年男子シングルス ▼準決勝 浅井（米子ク）2—0松永（米子ク）、井原（米子ク）2—0米田（境ク）**▼決勝** 浅井2（15—5、15—5）0井原

■壮年男子ダブルス ▼準決勝 井原・松永（米子ク）2—0広田・岡・（米子ク）、田口・山根（米子ク）2—0米田・山根（鳥取教）**▼決勝** 井原・松永2（15—11、15—10）0田口・山根

◇関西学生新人戦（6月20日・大阪阿倍野体育館）

▼男子シングルス決勝

中島（関大）2 15 15—10 1 13 15—1 1 山崎（立命）

▼男子ダブルス決勝

大川、菅原（近大）2 15 17—14 10 0 山崎、田辺（立命）

▼女子シングルス決勝

本田（大教大）2 1111—3 2—0 0 山岸（武庫川女大）

▼女子ダブルス決勝

水谷、山岸（武庫川女大）2 15 9—15 5 0 坂口、神原（関学）

（注）この項は読者の中村正孝さん（京都）提供です。

◇全国高校選手権地方予選

【岡山県女子】

▼準々決勝 山陽女3—0（相手記載もれ）、天城3—1矢掛商、倉敷中央3—0美作、倉敷青陵3—0井原 **▼準決勝** 山陽女3—0天城、倉敷青陵3—1倉敷中央

▼決勝 山陽女3—0倉敷青陵

○吉田 2 15 0—2 0 内藤
石田 1515—20
○林 剛 追 2 15 3—7 0 藤原
1515—30 山本

○石田 2 1111—0 0 0 近藤

【愛媛県女子】

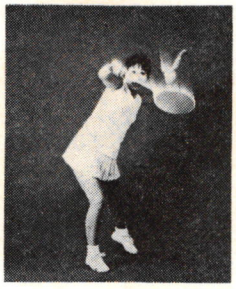
▼準々決勝 今治北3—0東温、松山東3—1宇和、松山商3—0新居浜西、松山南3—0弓削 **▼準決勝** 今治北3—0松山東、松山商3—0松山南

▼決勝 今治北3—1松山商

十亀 0 11 5—15 2 沼
高橋 11—15 2 戸田○
○田 鍋 2 15 0—2 0 山本
今 嶋 2 1515—20 0 野中

○今 嶋 2 1111—3 8 0 戸田
○田 鍋 2 1111—3 3 0 山本

《表　紙》



木村津奈子（きむら・つなこ）
ワールド・ダンサーズ

○…小学校五年生から踊りを始めた。美咲安里モダン・ダンスの練習生として励み、高校を卒業するとすぐSKD入りする。十八期生で、同期に、いま映画やTVで活躍中の倍賞美津子がいた。

○…SKDでは舞浪ちひろが芸名、五年間の在籍中、歌や芝居を勉強したが、歌は「なかなかいける」というのがもっぱらの評。ハスキーボイスである。

SKDをやめてからはフリーで労音の仕事やフロアショーなどで活躍し、ワールド・ダンサーズの前身、スタジオNO1ダンサーズ入りしたのが二年前。ここの六人の女性踊り手のうち一番身長がある。なかなかのプロポーションで、個人のファンも多勢。

○…「趣味は？」とたずねたら「踊りが趣味です」と明快な答えが返ってきた。チーム・メートにいわせれば「お酒の方もかなり…」とか。「ヘンなウワサが流れるとお嫁のもらい手がなくなる」とご本人はケンソン？したが、もっぱらウイスキー党だそうである。

○…顔も踊りも年季が入っている。加えて少女歌劇出身とあっては、ファンが多いのもムリはないところ。「勉強、勉強ですよ」とはご本人の弁だが、芸術家肌の人が多い同チームでも、やはり貴重な存在の一人だ。

163㌢、51㌔。寸法は上から83、60、84。（衣裳提供カワサキラケット）

ラスト

継続講読のお申し込みを早く

★本号をもって「バドミントン界」も一年を経過しました。来号からは二年目にはいります。

創刊号からの愛読者のみなさんは、早めに継続申し込みの手続きをお願いします。

振替用紙は毎号、雑誌にはさみこんでありますが、もし、入っていない場合は、編集部までご請求下さるか、別途の方法で送金して下さっても、けっこうです。

★本誌は現在、一般書店では発売しておりませんが、読者の方々からは「書店に出してほしい」との要望がかなりありますが、便宜的に、主要スポーツ店で扱っていただいておりますので、講売希望の仲間がいる場合はあなたの最寄りのスポーツ用品店にお問い合わせ下さい。

もし、その店に置いていないときは、わけを話して、本誌編集部への取り次ぎをたのんでみて下さい。

また、同じことを、近くの書店に頼んでみて下さってもけっこうです。現に、二、三、取り次いでくれている書店があります。

★バック・ナンバーについてのお知らせ。創刊号は全然、ストックがなくなりました。第2号からの分も、在庫僅少です。

お知らせ

ラスト・コーナー

次号予告

第13号は創刊一周年記念号となります。

なるべく多彩なものをと考えていますが、紙数の関係でどれだけ盛り込めるか心配です。

中心はインターハイ（第23回全国高校総合体育大会）です。詳細な記録、評のほか、多角的な視野から大会にメスを入れます。

写真グラフもインターハイの特集です。

一周年に関するものとしては①日本協会はこう運営されている②バド界ができるまで③バド界この一年、など。

日本バドミントン協会は、全国愛好者の総括的な組織ですが、実際には名前だけ聞かされても、読者が身近かに感じることが少ないのではないかと思います。その意味で、協会がどんなことをやり、どう皆さんと結びついているのか知ることは、バドミントン競技界の発展の一助にもなると思います。

その他、特別な読みものとしては全国の学校での普及状況アンケート、アマ規定とバドミントンなどを予定しています。

ラスト

編集後記

インターハイを迎える予告特集号を追いかけ、第12号を、ようやく送り出すことができた。

毎回、予告しながら、その通りに編集できないのが残念。

本号から第一ページの理事長対談に変えて〝私のひとこと〟を登場させた。第二回目は小島一平選手、以下、第一線にある選手たちの話をつぎつぎに出していく予定。

日本体協のアマ規定が改訂になる。これまでバドミントンには独自の規定がなかったので、さっそく制定する必要がある。今後の問題は次号以下で…。

ラスト

【バドミントン界】　第12号
昭和45年7月25日印刷
昭和45年8月1日発行
発行所　日本バドミントン協会
東京都渋谷区神南一の一の一
岸記念体育会館内
電話　四六七・三一一一（内線）二五一
四六七・七〇九五（直通）
郵便番号・一五〇
振替口座・東京三二一九三
編集兼発行人　川端昇市
印刷所　東京都江東区永代一の五の二
有限会社　和田印刷所
定価　一部　百円

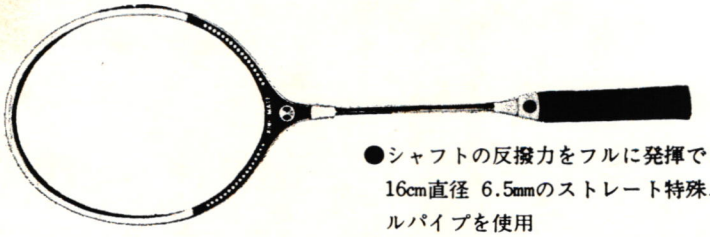
反撥力 抜群！

ストレート特殊スチールパイプで
シャフトの効果が倍増されました
あなたのプレイが注目の的です

新製品 No.3500 キングメイト

KING MATE





●シャフトの反撥力をフルに発揮できる全長16cm直径 6.5mmのストレート特殊スチールパイプを使用

●小銀杏構造と輸入木材を基にした革命的な特殊合板でバランス、耐久力は抜群

サンバタ

株式会社 諸江製作所

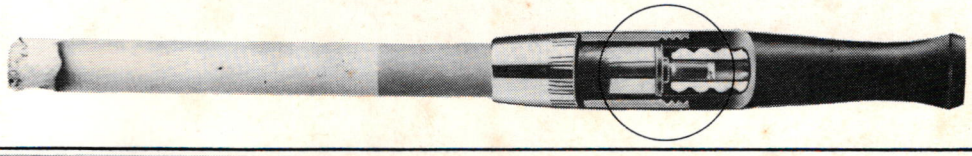
東京都渋谷区笹塚2丁目46番8号
電話(377) 4401 (代表)

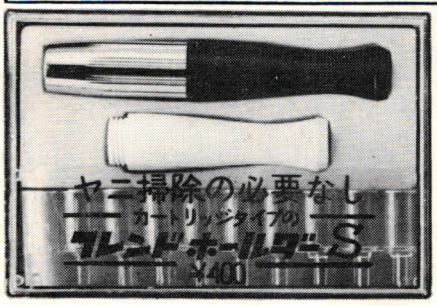
月刊「バドミントン界」第十二号
昭和四十五年八月一日発行
昭和四十四年十二月二十三日（毎月一回一日発行）
第三種郵便物認可
発行所
東京都渋谷区神南一ノ一ノ一
岸記念体育会館内
日本バドミントン協会
定価百円



華麗なる紫煙を
フレンドホルダーで!!

ヤニ掃除の必要がなくなりました――《有害タール》を約90%もとるパイプです

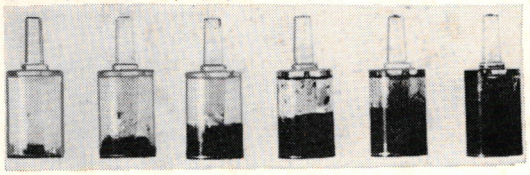




PAT. NO. 800395/PAT. P. NO. 42. 44127·43. 22729

カートリッジタイプの
フレンドホルダーS

スペアーカートリッジ10本付・価格＝￥400



1本目　3本目　5本目　10本目　15本目　20本目

フレンドホルダーSS　フレンドホルダーSL　フレンドホルダーS プライヤー本象牙

たばこ店・デパート・薬局・喫煙具店・駅主要売店にて発売中

発売元
テラサキ株式会社
東京都江戸川区興宮町43